



# 犬や猫の飼養に関する全国調査 集計まとめ

2023年10月

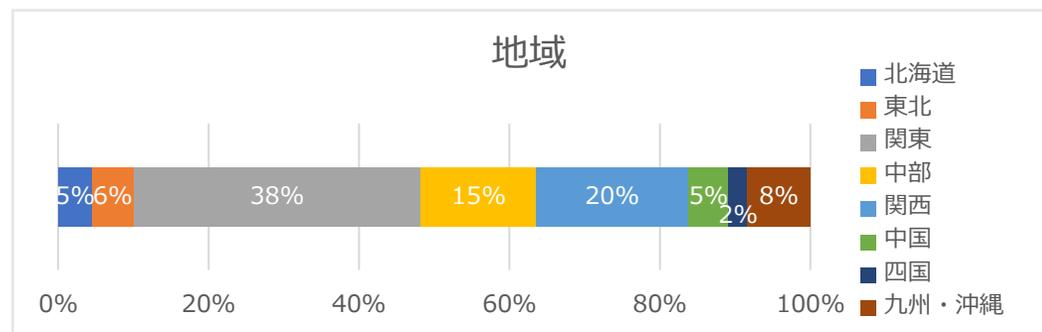
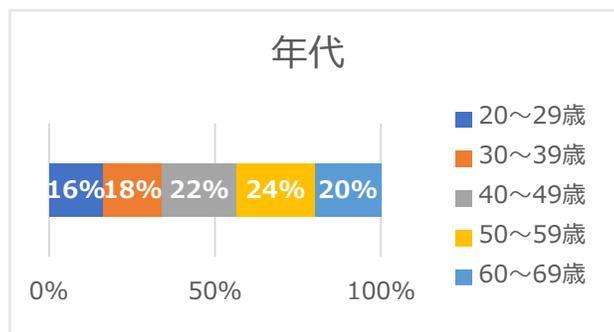
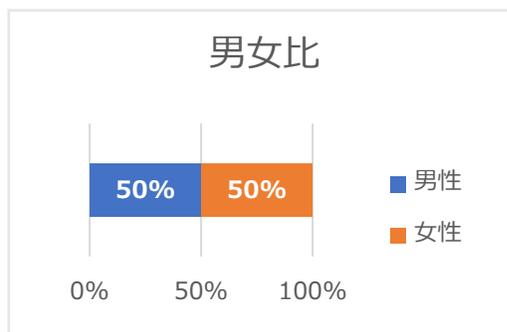
# 犬や猫の飼養に関する全国調査：概要

## 調査の目的

- 一般生活者の犬や猫の飼養に対する現状と今後の意識について確認する
  - 犬と猫の飼養状況とその理由、将来の飼養意向
  - 犬や猫を迎え入れるチャネルに対する現状と今後の意識
  - 犬や猫の保護活動や、関連する情報に対する理解度と意識

## 調査概要

- 調査設計・実施： アマゾンジャパン合同会社／公益社団法人アニマル・ドネーション
- 分析・報告： 公益社団法人アニマル・ドネーション
- 調査概要： オンライン調査・無作為抽出・全国20,163サンプル
- 調査時期： 2023年7月28日～8月1日
- サンプル構成：



## 現在の状況

# 1

- 飼養状況
- 飼養理由・非飼養理由
- 迎え入れたチャネル
- 日常の幸福度スコア

## 将来の意向

# 2

- 今後の飼養意向
- 迎え入れたいチャネル
- 希望種別

## 保護活動・寄付

# 3

- 保護犬猫のイメージ
- 活動への認知度
- 活動への参加度

## その他

# 4

- 動物福祉課題の認知・関心

## 現在の状況

# 1

- 飼養状況
- 飼養理由・非飼養理由
- 迎え入れたチャネル
- 日常の幸福度スコア

## 将来の意向

# 2

- 今後の飼養意向
- 迎え入れたいチャネル
- 希望種別

## 保護活動・寄付

# 3

- 保護犬猫のイメージ
- 活動への認知度
- 活動への参加度

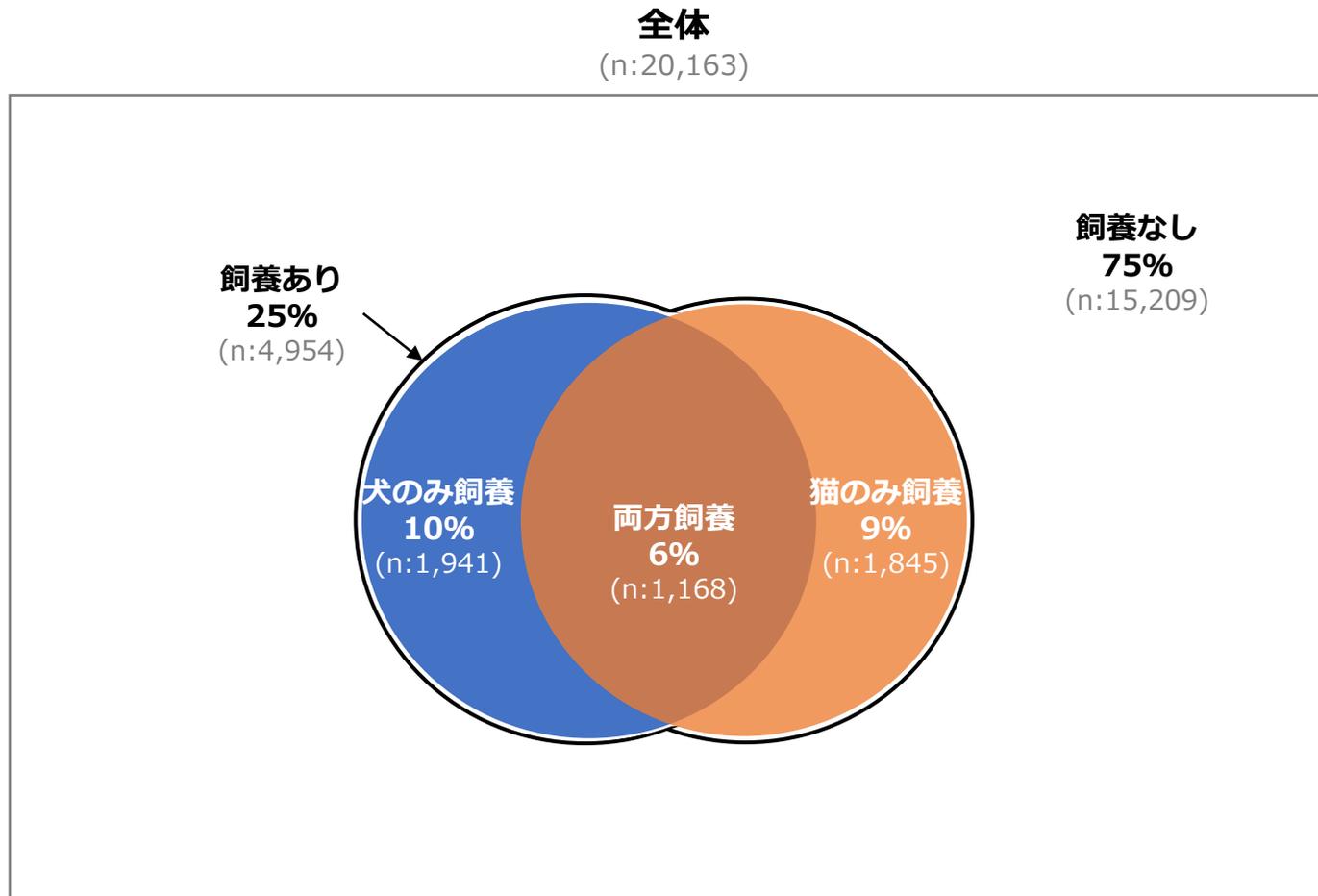
## その他

# 4

- 動物福祉課題の認知・関心

# 第1章 現在：飼養状況

- 現在の「犬または猫」の飼養率は25%
- 犬猫飼養層のうち、約四分の一が犬猫を「両方飼養」 (犬猫飼養25%、両方飼養6%)



# 第1章 現在：飼養状況（性別・年代別）

- 若い年代ほど飼養率が高く、20～29歳は30%に迫る
- 犬よりも猫のほうが多頭傾向にある

あなたは犬を飼っていますか？ (SA)

あなたは猫を飼っていますか？ (SA)

	犬猫と現在暮らしている		
	YES	NO	総計
<b>男性</b>	<b>25%</b>	<b>75%</b>	<b>100%</b>
20～29歳	29%	71%	100%
30～39歳	27%	73%	100%
40～49歳	25%	75%	100%
50～59歳	23%	77%	100%
60～69歳	21%	79%	100%
<b>女性</b>	<b>25%</b>	<b>75%</b>	<b>100%</b>
20～29歳	27%	73%	100%
30～39歳	25%	75%	100%
40～49歳	25%	75%	100%
50～59歳	25%	75%	100%
60～69歳	21%	79%	100%
<b>総計</b>	<b>25%</b>	<b>75%</b>	<b>100%</b>

犬				
1匹（頭）飼っている	2匹（頭）飼っている	3匹（頭）以上飼っている	以前飼っていたが、今は飼っていない	これまで一度も飼ったことがない
12%	3%	1%	22%	62%
14%	6%	2%	8%	70%
14%	3%	1%	14%	67%
13%	2%	1%	21%	63%
11%	2%	1%	27%	59%
10%	1%	0%	36%	52%
12%	2%	1%	26%	60%
14%	4%	3%	12%	68%
12%	2%	1%	20%	64%
11%	2%	1%	26%	60%
11%	2%	1%	29%	57%
10%	1%	0%	37%	51%
12%	2%	1%	24%	61%

猫				
1匹（頭）飼っている	2匹（頭）飼っている	3匹（頭）以上飼っている	以前飼っていたが、今は飼っていない	これまで一度も飼ったことがない
9%	4%	2%	13%	72%
12%	6%	3%	5%	74%
12%	5%	2%	8%	74%
9%	3%	2%	12%	73%
8%	3%	2%	16%	71%
7%	2%	2%	21%	68%
9%	4%	2%	14%	71%
8%	5%	3%	8%	77%
11%	3%	3%	11%	73%
9%	3%	2%	13%	73%
9%	4%	2%	17%	68%
8%	3%	2%	20%	68%
9%	4%	2%	13%	72%

# 第1章 現在：飼養状況（地域別）

- 飼養率の地域差は大きくないが、四国以南は犬猫を飼養している割合が若干高い
- 人口比では、犬飼養者は中部・関西・九州・沖縄に多く、猫飼養者は東北・四国に多い傾向

あなたは犬を飼っていますか？（SA）

あなたは猫を飼っていますか？（SA）

	犬猫と現在暮らしている		
	YES	NO	総計
北海道	24%	76%	100%
東北	26%	74%	100%
関東	23%	77%	100%
中部	26%	74%	100%
関西	24%	76%	100%
中国	25%	75%	100%
四国	27%	73%	100%
九州・沖縄	27%	73%	100%
<b>総計</b>	<b>25%</b>	<b>75%</b>	<b>100%</b>

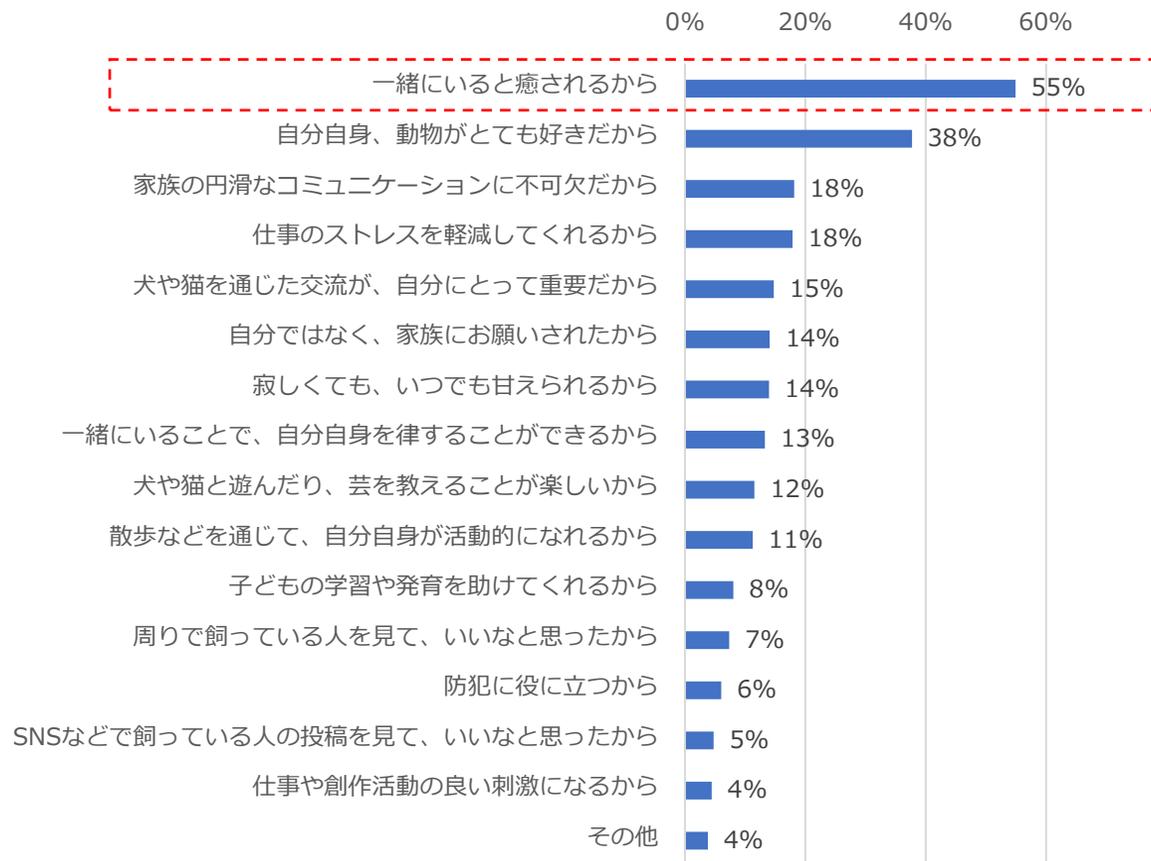
犬				
1匹（頭） 飼っている	2匹（頭） 飼っている	3匹（頭） 以上飼っている	以前飼っていたが、 今は飼っていない	これまで一度も 飼ったことがない
12%	2%	1%	20%	65%
9%	2%	1%	27%	61%
11%	2%	1%	22%	64%
13%	3%	1%	26%	57%
13%	2%	1%	25%	59%
12%	2%	1%	24%	60%
11%	3%	2%	32%	52%
14%	2%	2%	25%	57%
<b>12%</b>	<b>2%</b>	<b>1%</b>	<b>24%</b>	<b>61%</b>

猫				
1匹（頭） 飼っている	2匹（頭） 飼っている	3匹（頭） 以上飼っている	以前飼っていたが、 今は飼っていない	これまで一度も 飼ったことがない
8%	4%	2%	12%	73%
11%	4%	3%	15%	67%
9%	3%	2%	13%	72%
9%	4%	2%	15%	70%
8%	4%	2%	11%	75%
9%	4%	2%	15%	70%
11%	3%	3%	16%	66%
10%	4%	3%	13%	70%
<b>9%</b>	<b>4%</b>	<b>2%</b>	<b>13%</b>	<b>72%</b>

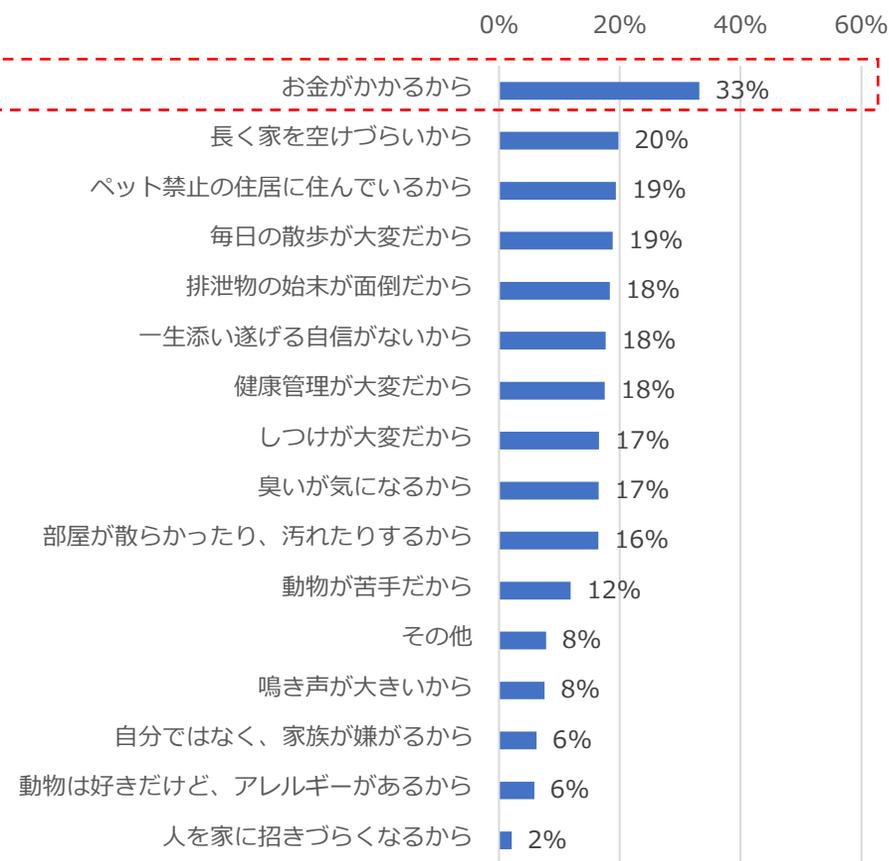
# 第1章 現在：飼養理由・非飼養理由

- 飼養理由は「癒し」が他理由を大きく引き離し、非飼養理由は経済的問題と飼養上の問題・制約（の懸念）による部分が多い

なぜ犬や猫を飼っているのかを教えてください (MA)



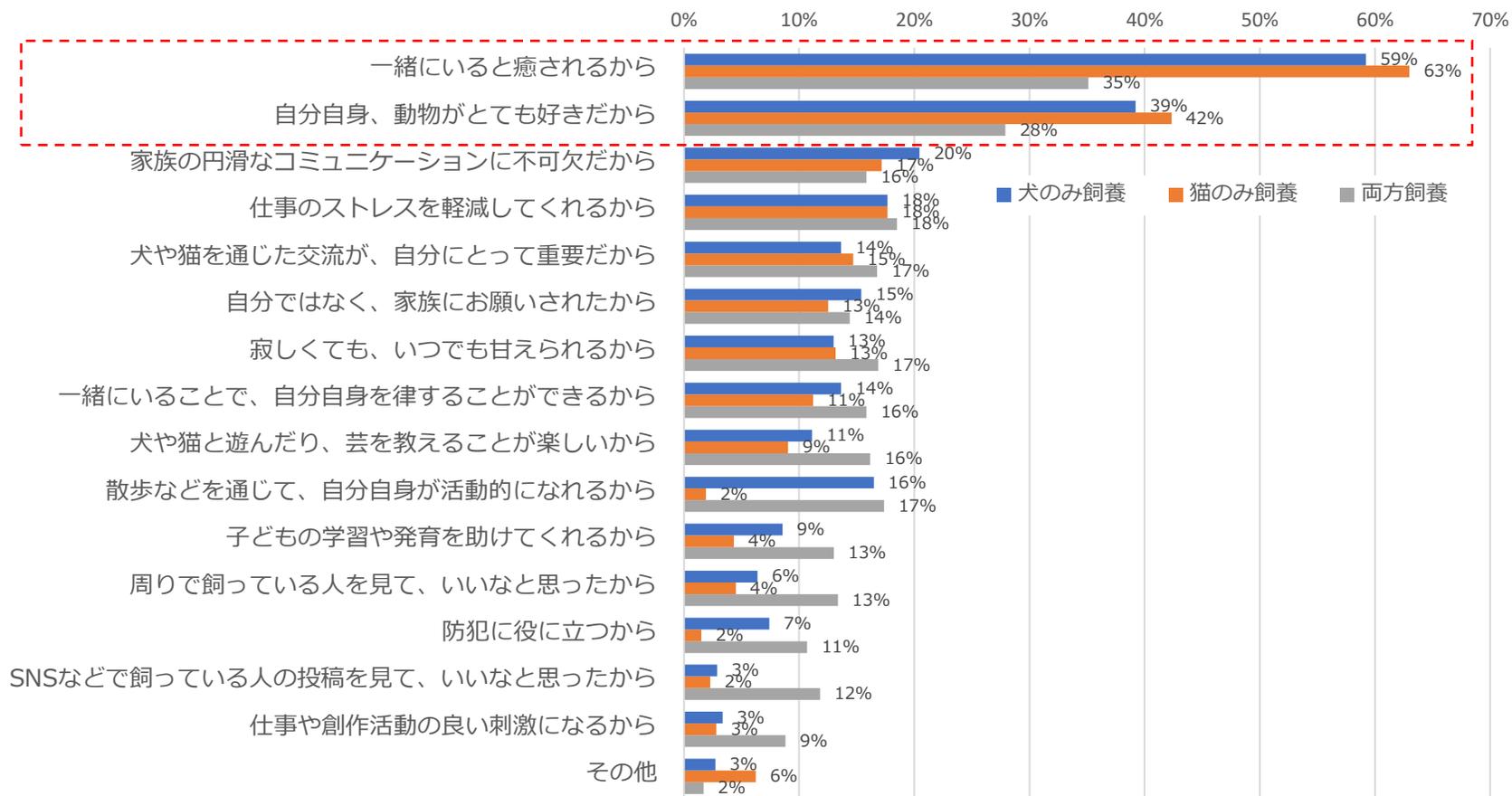
なぜ犬や猫を飼っていないのかを教えてください (MA)



# 第1章 現在：飼養理由・非飼養理由

- 「一緒にいると癒される」「動物がとても好き」は飼養者種別に関わらずトップ2の理由だが、猫のみ飼養者の数値が最も高く、犬猫両方飼養者の数値を大きく上回る結果となった

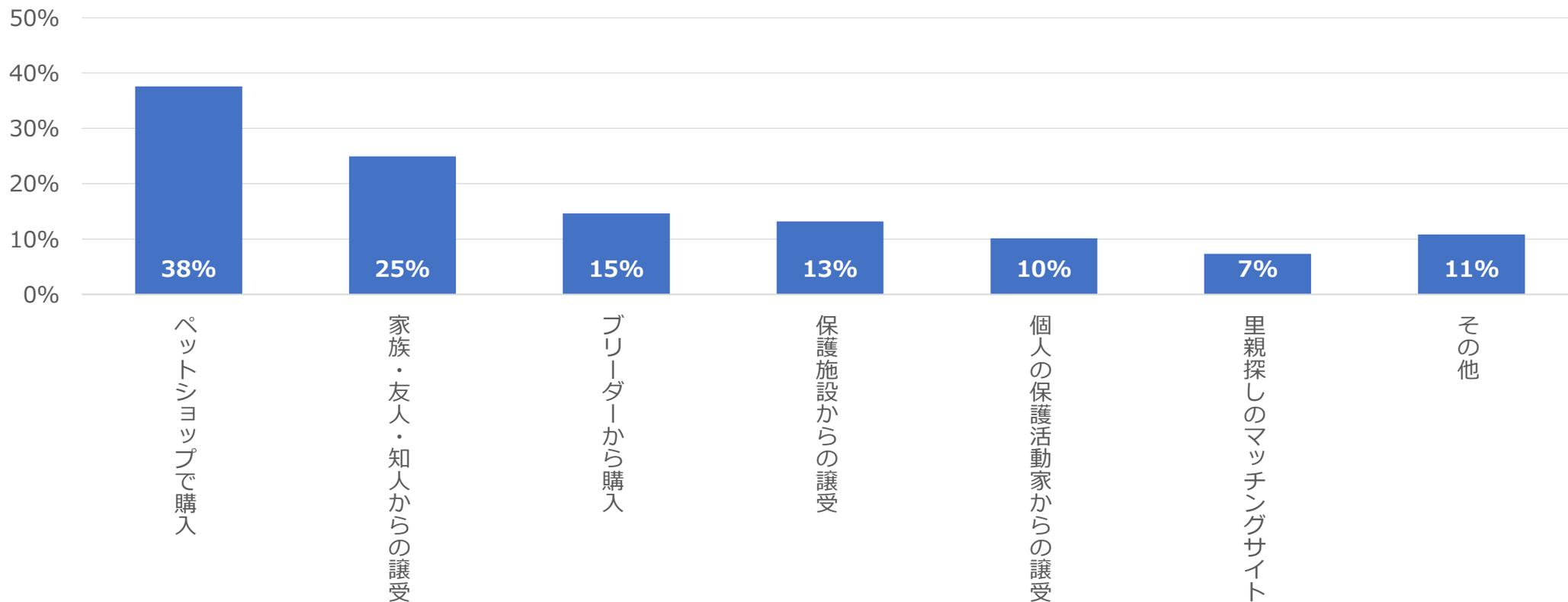
なぜ犬や猫を飼っているのかを教えてください (MA)



# 第1章 現在：犬猫を迎え入れたチャネル

- ペットショップは依然としてTOPだが40%を切るレベルとなっており、犬猫と出会うチャネルの分散化が伺える

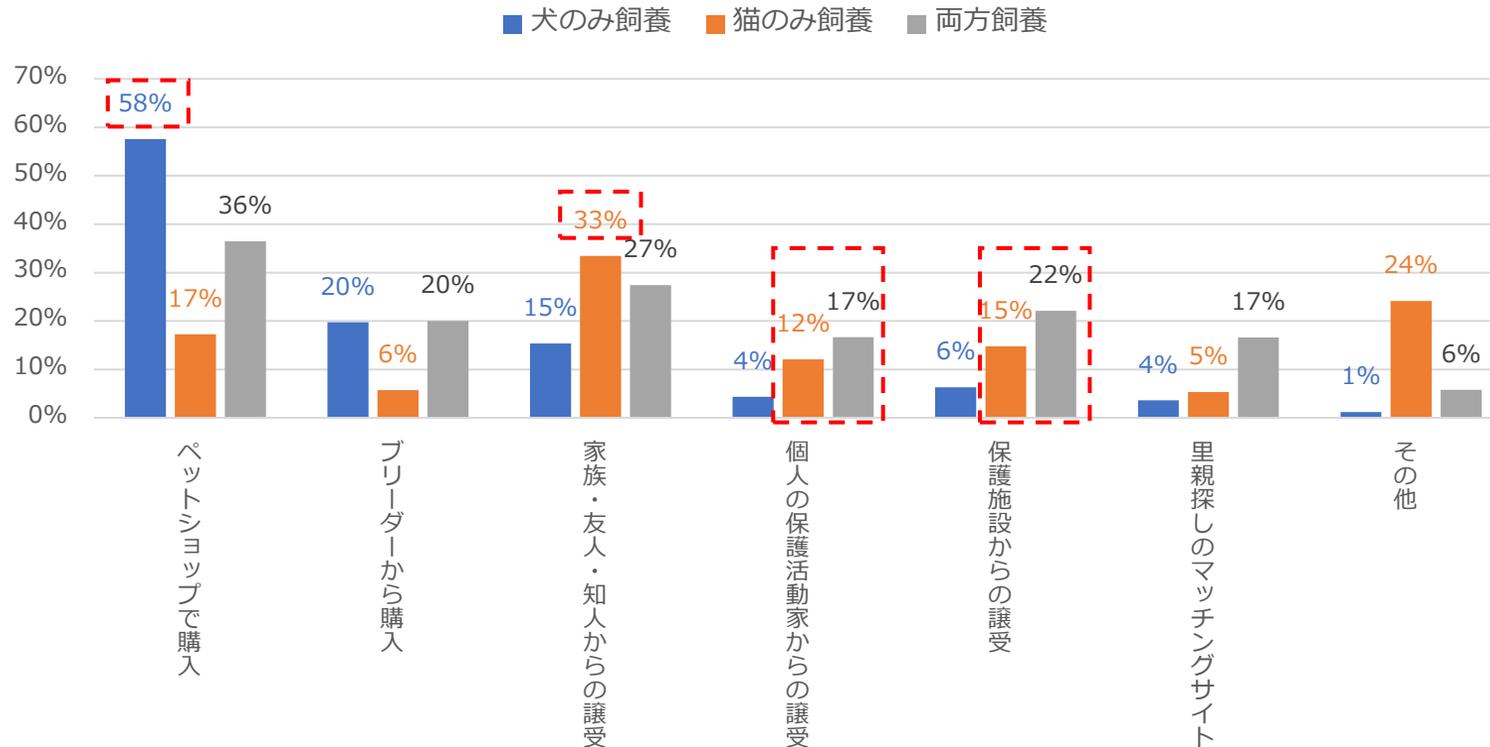
あなたが犬や猫を迎え入れた場所を教えてください (MA)



# 第1章 現在：犬猫を迎え入れたチャンネル（飼養状況別）

- 犬飼養者は、ペットショップ、次いでブリーダーで迎え入れている割合が高い
- 猫飼養者は「家族・友人・知人からの譲受」が最多という結果となった
- 「保護犬猫の迎え入れ」は、猫飼養者と両方飼養者が犬飼養者に比べて高い傾向

あなたが犬や猫を迎え入れた場所を教えてください（MA）



# 第1章 現在：日常の幸福度スコア

- 犬猫を飼養している人は幸福を感じている傾向（10段階評価で平均6.2ポイント）
  - 特に男性で飼養者と非飼養者の差が大きい（6.2ポイント：5.7ポイント）
  - 年代別だと、20代および30代で飼養者が高い幸福度を示している
  - 犬の飼養者は相対的に幸福度が高い

あなたの今の日常の幸福度を10点満点でお知らせください。

	犬猫と現在暮らしている		総計
	YES	NO	
<b>男性</b>	<b>6.2</b>	<b>5.7</b>	<b>5.8</b>
20～29歳	6.6	6.0	6.2
30～39歳	6.2	5.6	5.7
40～49歳	5.9	5.5	5.6
50～59歳	5.8	5.4	5.5
60～69歳	6.6	6.2	6.3
<b>女性</b>	<b>6.3</b>	<b>6.2</b>	<b>6.3</b>
20～29歳	6.4	6.2	6.2
30～39歳	6.2	6.1	6.1
40～49歳	6.0	6.1	6.1
50～59歳	6.3	6.1	6.2
60～69歳	6.6	6.8	6.7
<b>総計</b>	<b>6.2</b>	<b>6.0</b>	<b>6.0</b>

犬				
1匹（頭）飼っている	2匹（頭）飼っている	3匹（頭）以上飼っている	以前飼っていたが、今は飼っていない	これまで一度も飼ったことがない
6.3	6.7	6.3	5.7	5.7
6.8	7.1	6.4	5.9	6.0
6.2	6.6	6.0	5.7	5.6
6.1	6.3	6.1	5.2	5.5
6.0	6.3	5.9	5.4	5.5
6.6	7.0	7.5	6.3	6.2
6.5	6.5	6.3	6.3	6.2
6.6	6.6	6.3	6.3	6.1
6.3	6.3	6.4	6.0	6.0
6.3	6.5	6.4	6.0	6.0
6.5	6.5	6.0	6.2	6.1
6.8	6.6	6.5	6.8	6.7
6.4	6.6	6.3	6.0	5.9

猫				
1匹（頭）飼っている	2匹（頭）飼っている	3匹（頭）以上飼っている	以前飼っていたが、今は飼っていない	これまで一度も飼ったことがない
6.1	6.4	6.2	5.6	5.8
6.6	6.7	7.0	6.2	6.1
6.2	6.6	6.0	5.5	5.6
5.5	6.3	5.3	5.3	5.6
5.7	5.6	6.2	5.2	5.5
6.6	6.6	6.5	6.1	6.3
6.2	6.3	6.0	6.2	6.3
6.7	6.2	5.9	6.1	6.2
6.4	5.9	5.6	6.1	6.0
5.9	6.0	5.7	5.9	6.1
6.0	6.3	6.3	6.2	6.2
6.3	7.1	6.6	6.7	6.8
6.2	6.3	6.1	5.9	6.0

## 現在の状況

# 1

- 飼養状況
- 飼養理由・非飼養理由
- 迎え入れたチャネル
- 日常の幸福度スコア

## 将来の意向

# 2

- 今後の飼養意向
- 迎え入れたいチャネル
- 希望種別

## 保護活動・寄付

# 3

- 保護犬猫のイメージ
- 活動への認知度
- 活動への参加度

## その他

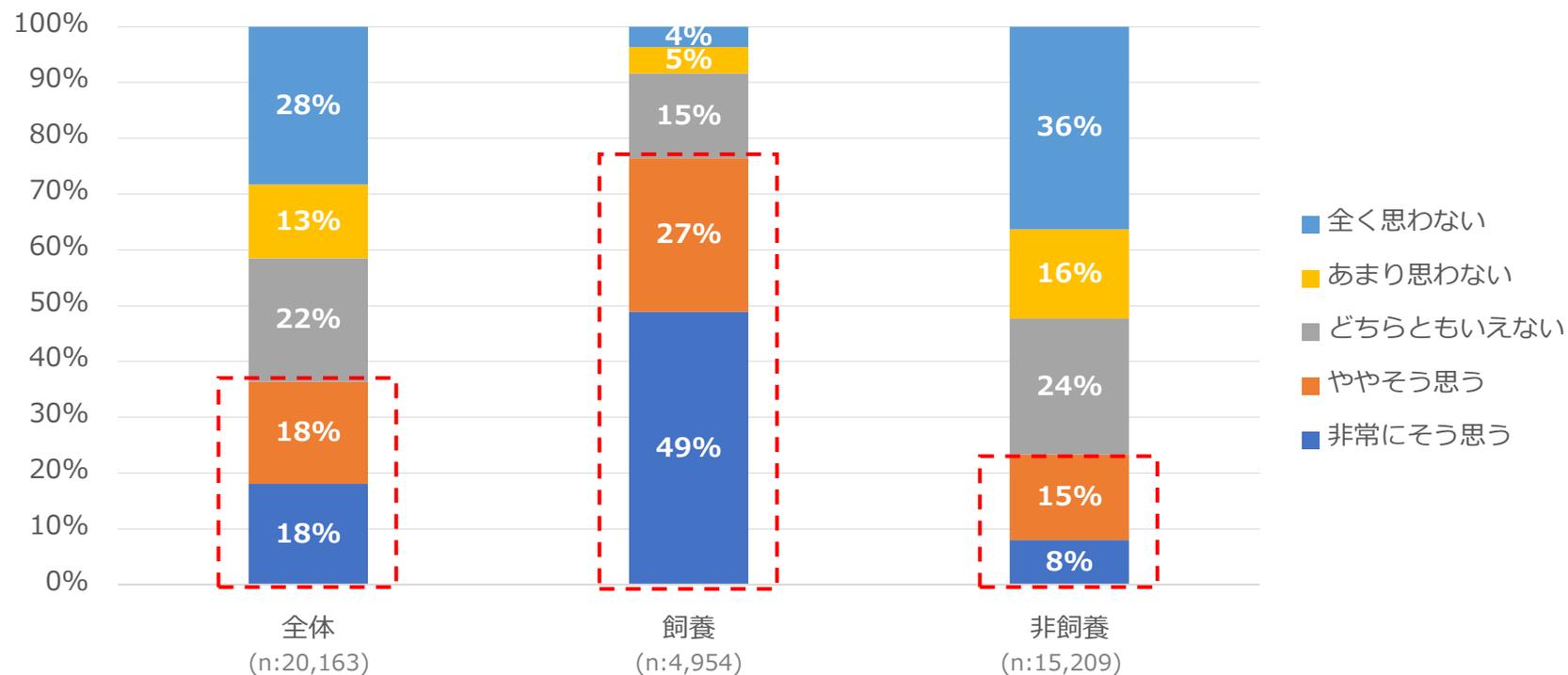
# 4

- 動物福祉課題の認知・関心

## 第2章 将来：今後の飼養意向

- 調査全体の36%が今後（も）犬猫を飼養したい意向あり（現在飼養者は76%／非飼養者は23%）

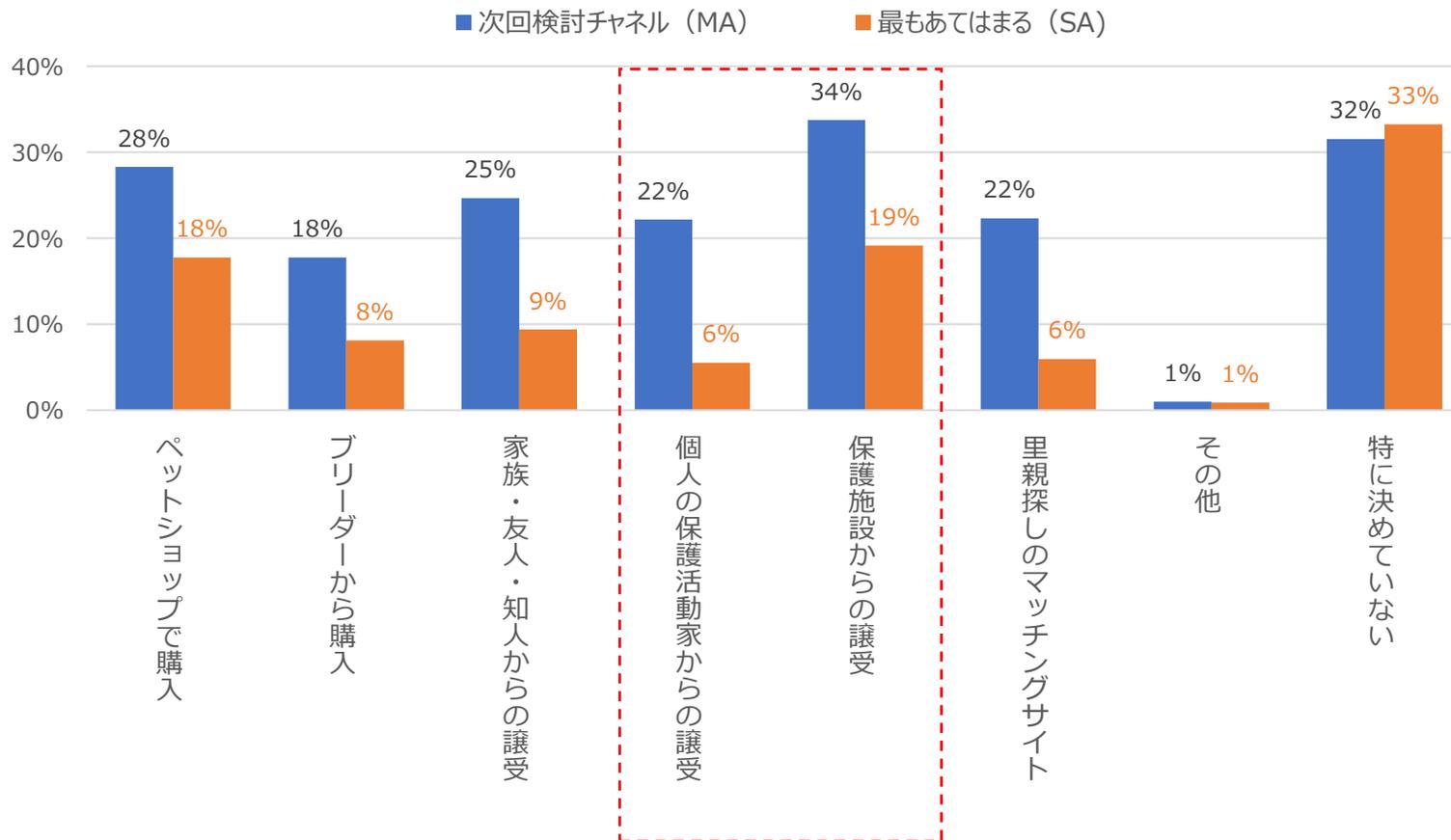
あなたは今後（今後も）犬または猫と暮らしたいと思いますか？



## 第2章 将来：迎え入れたいチャネル

- 次回検討チャネルのトップは、「保護犬猫の迎え入れ」がペットショップを上回る

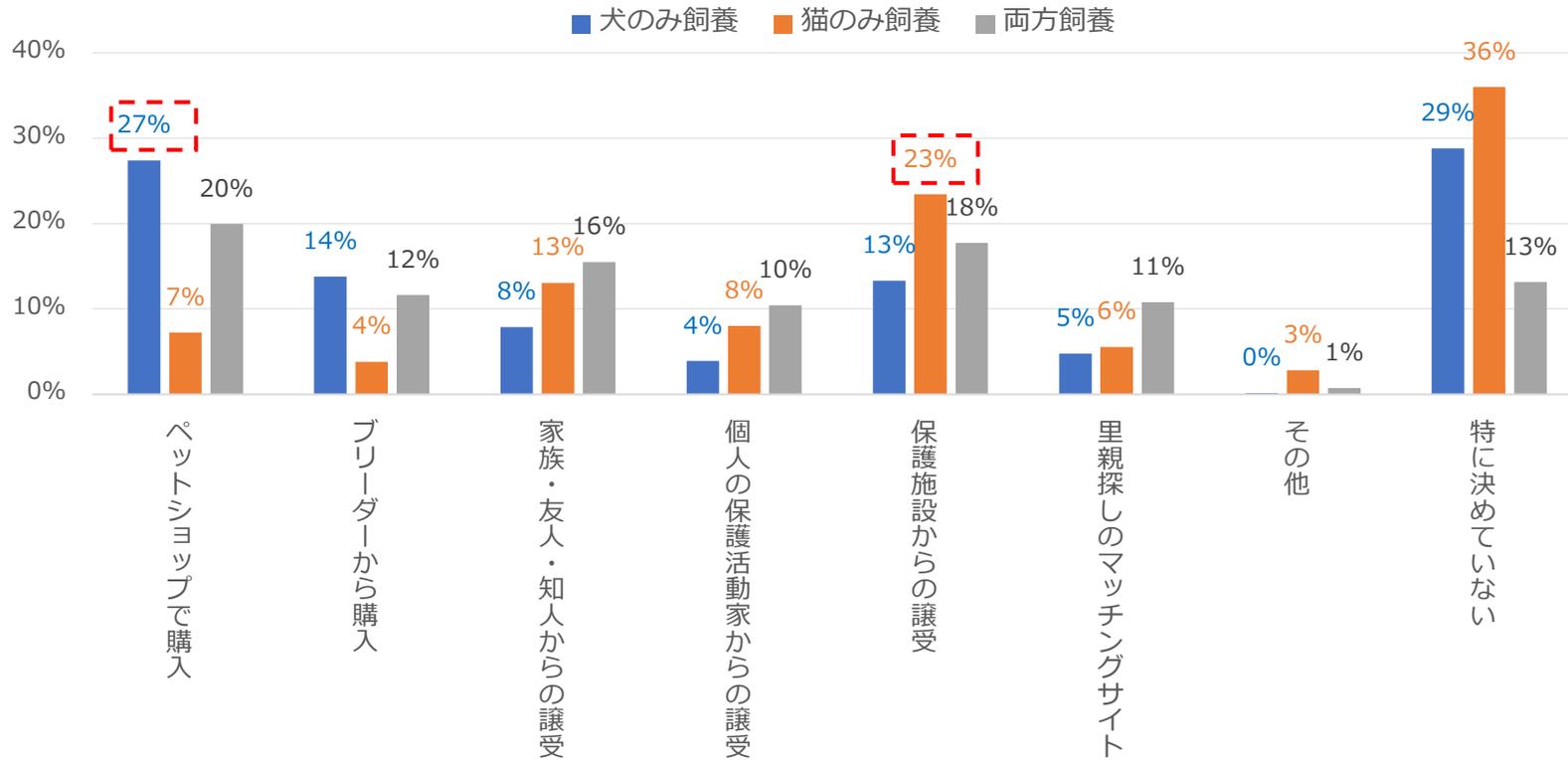
犬または猫をどこから迎え入れる予定ですか？あるいは迎え入れたいですか？



## 第2章 将来：迎え入れたいチャネル（飼養状況別）

- 猫飼養者は「保護犬猫の迎え入れ」の意識が高いが、犬飼養者はペットショップが上回る

犬または猫をどこから迎え入れる予定ですか？あるいは迎え入れたいですか？（最もあてはまるもの）



## 第2章 将来：迎え入れたいチャネル（迎え入れた場所別）

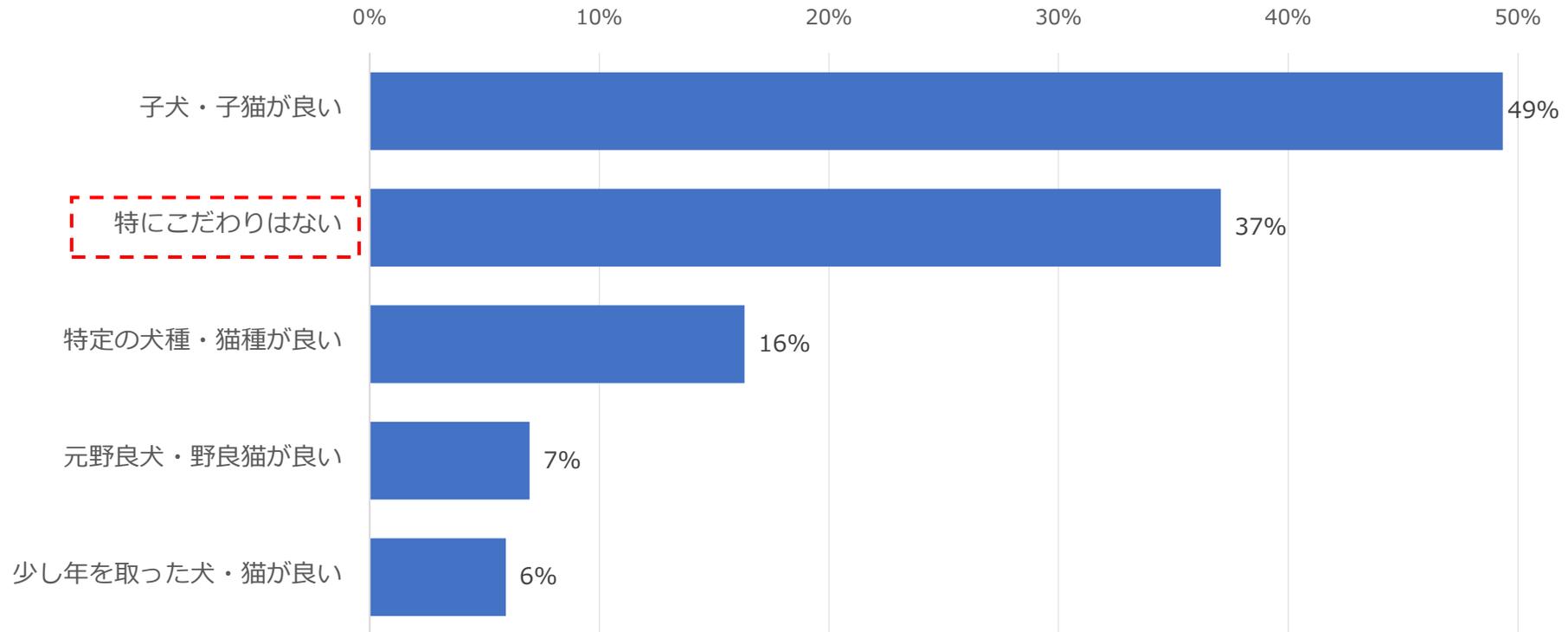
- 今後も同じチャネルを希望する傾向はあるが、保護施設はどのセグメントからも次点の候補となっている
- 特に保護施設から迎え入れた飼養者は、80%が今後も共に犬猫と暮らしたいと考えており、次回も過半数が保護施設を候補チャネルとしている

		犬または猫をどこから迎え入れる予定ですか？あるいは迎え入れたいですか？（最もあてはまるもの）									
		ペットショップで購入	ブリーダーから購入	家族・友人・知人からの譲受	個人の保護活動家からの譲受	保護施設からの譲受	里親探しのマッチングサイト	その他	特に決めていない		
迎え入れた現在のチャネル（MA）		調査N数	今後の飼養意向率								
	ペットショップで購入	1,862	80%	39%	8%	4%	4%	13%	5%	0%	26%
	ブリーダーから購入	724	81%	10%	39%	7%	6%	11%	6%	0%	21%
	家族・友人・知人からの譲受	1,235	77%	5%	4%	32%	6%	15%	6%	1%	32%
	個人の保護活動家からの譲受	502	74%	8%	7%	10%	28%	20%	11%	1%	15%
	保護施設からの譲受	653	80%	6%	6%	9%	9%	51%	8%	1%	12%
	里親探しのマッチングサイト	363	76%	11%	12%	12%	12%	16%	27%	0%	9%
その他	536	81%	1%	1%	6%	3%	21%	3%	10%	56%	

## 第2章 将来：希望種別

- 半数が「子犬・子猫が良い」と回答するものの、三分の一以上が迎え入れる「犬猫の種別にこだわりはない」

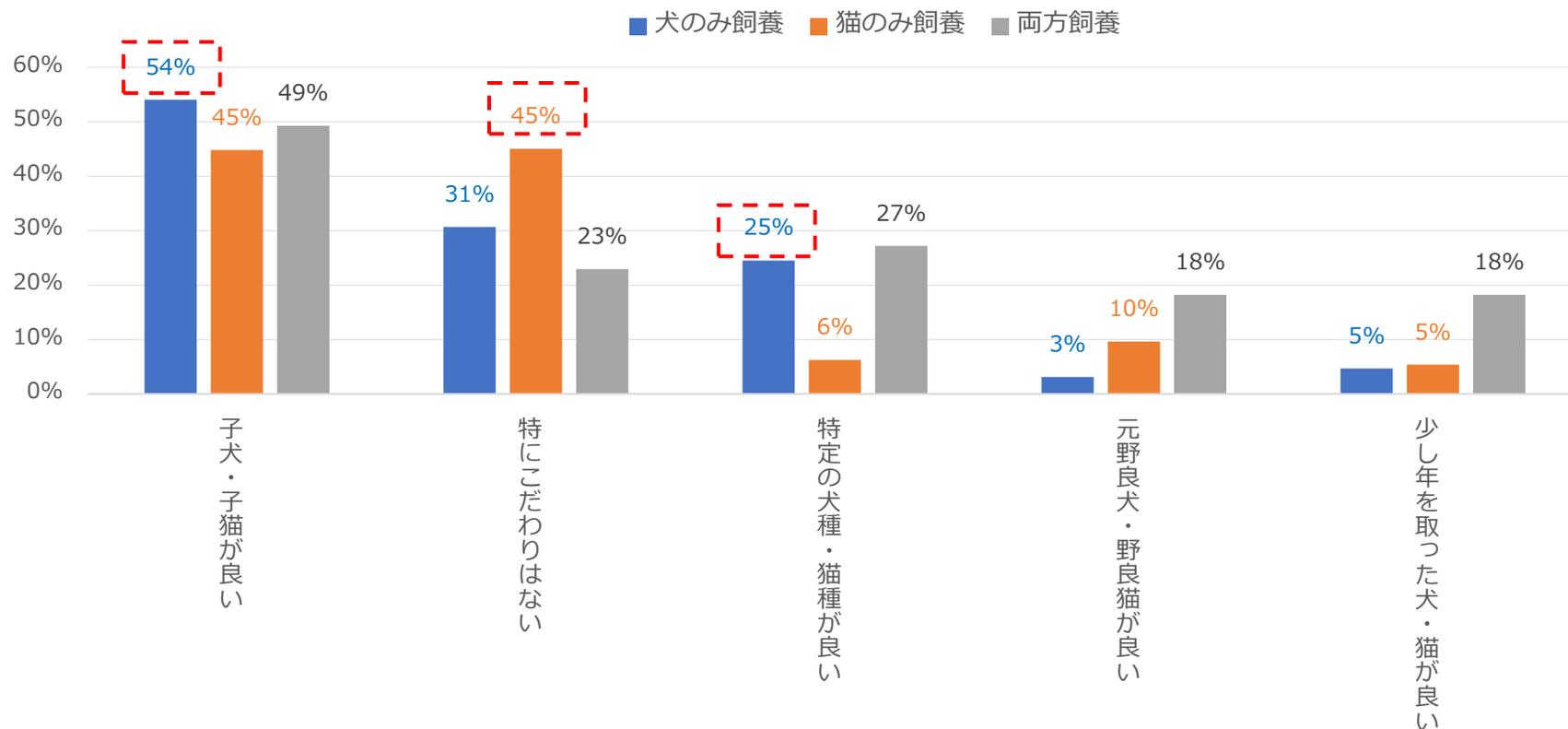
犬・猫を迎え入れる際のこだわりを教えてください (MA)



## 第2章 将来：希望種別（飼養状況別）

- 「子犬」や「特定の種別にこだわる」犬飼養者と、「特にこだわりはない」が相対的に高い猫飼養者での傾向差が伺える

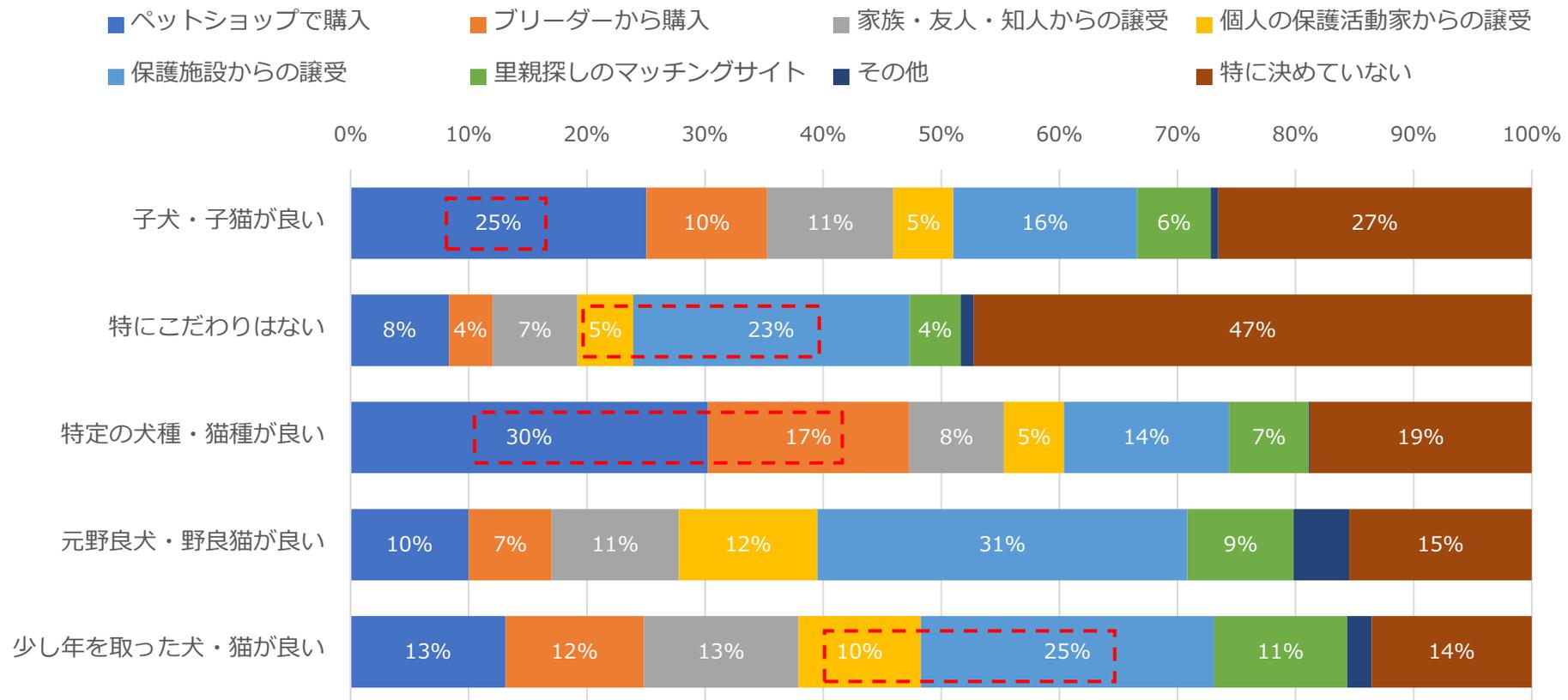
犬・猫を迎え入れる際のこだわりを教えてください (MA)



## 第2章 将来：希望種別（迎え入れたい場所別）

### 希望種別と迎え入れチャネルにも傾向

- 子犬・子猫希望層は「ペットショップ」で、特定の種別希望層は「ペットショップ&ブリーダー」
- 特にこだわりのない層および成犬・成猫希望層は「保護施設&保護活動家」



## 現在の状況

# 1

- 飼養状況
- 飼養理由・非飼養理由
- 迎え入れたチャネル
- 日常の幸福度スコア

## 将来の意向

# 2

- 今後の飼養意向
- 迎え入れたいチャネル
- 希望種別

## 保護活動・寄付

# 3

- 保護犬猫のイメージ
- 活動への認知度
- 活動への参加度

## その他

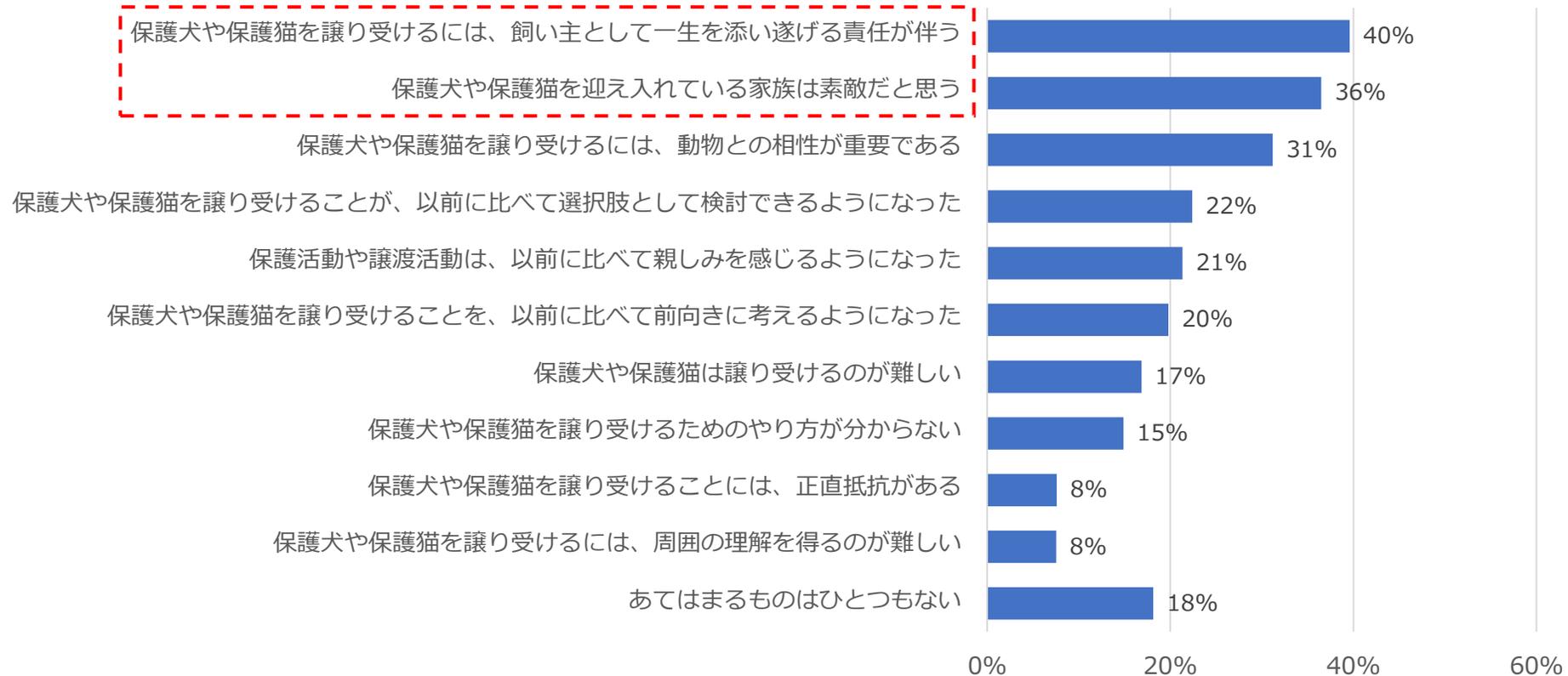
# 4

- 動物福祉課題の認知・関心

## 第3章 保護活動・寄付：保護犬猫のイメージ

- 保護犬猫の迎え入れに対しては、“責任感”とともに“ポジティブなイメージ”も上位にあがっている

保護犬や保護猫に対するあなたのイメージや考え方として、あてはまるものをすべてお選びください



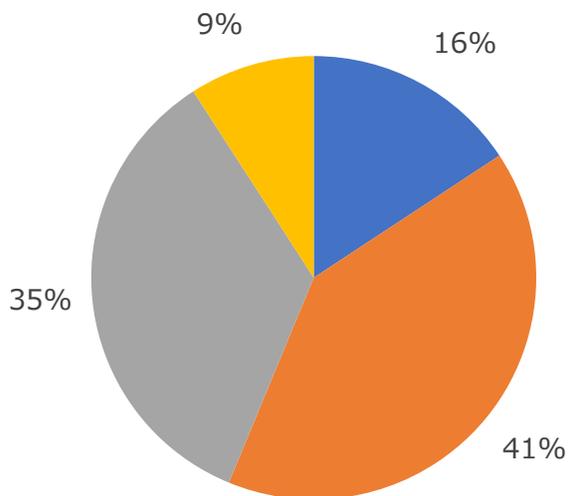
# 第3章 保護活動・寄付：活動への認知度

- 保護活動・譲渡活動ともに、今後の飼養意向あり層の67%が「知っている」と回答

あなたは「保護活動」「譲渡活動」について、それぞれの程度知っていますか？

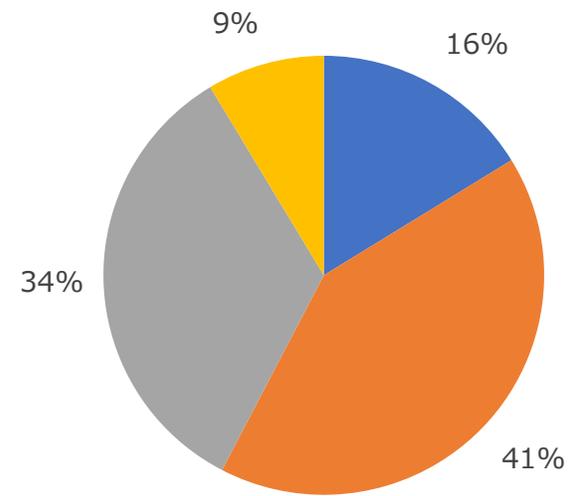
保護活動の認知度

■ よく知っている ■ だいたい知っている ■ あまりよく知らない ■ まったく知らない



譲渡活動の認知度

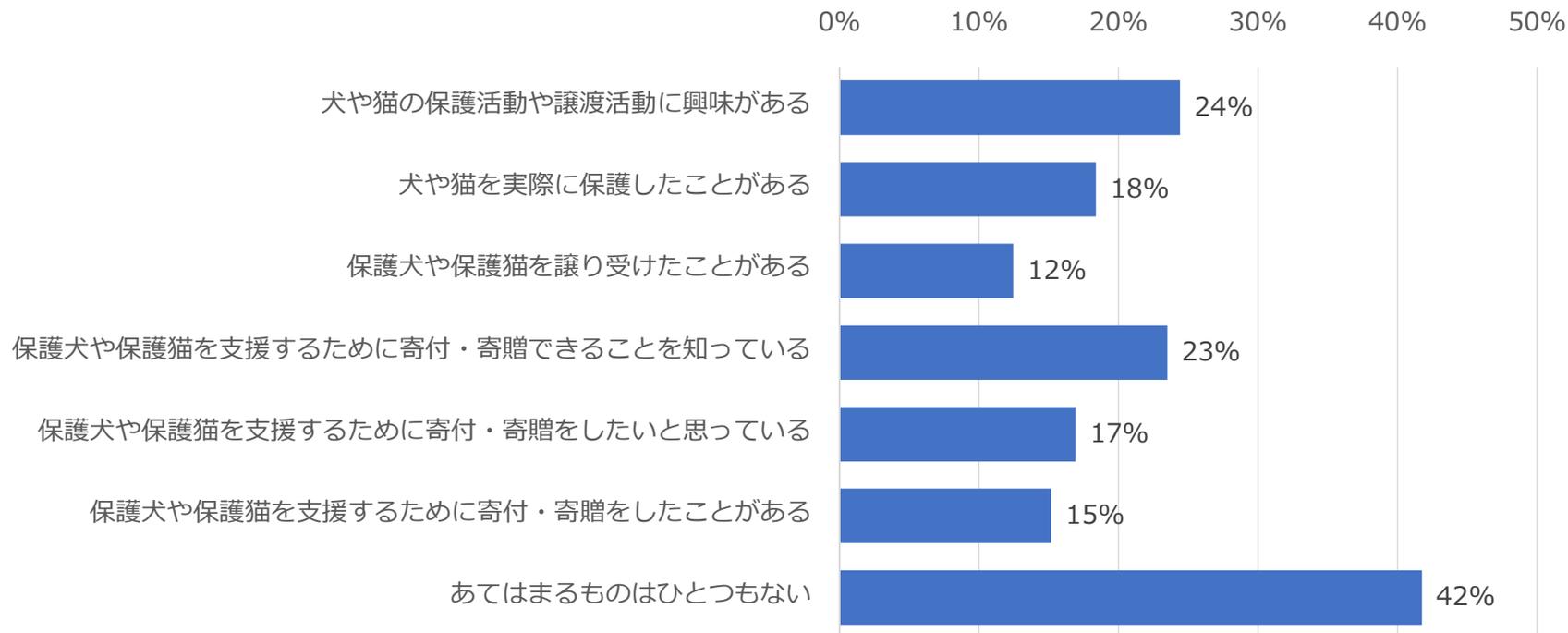
■ よく知っている ■ だいたい知っている ■ あまりよく知らない ■ まったく知らない



## 第3章 保護活動・寄付：活動への参加度

- 保護活動への関心、寄付などの支援については、今後の飼養意向あり層であっても2割程度に留まる

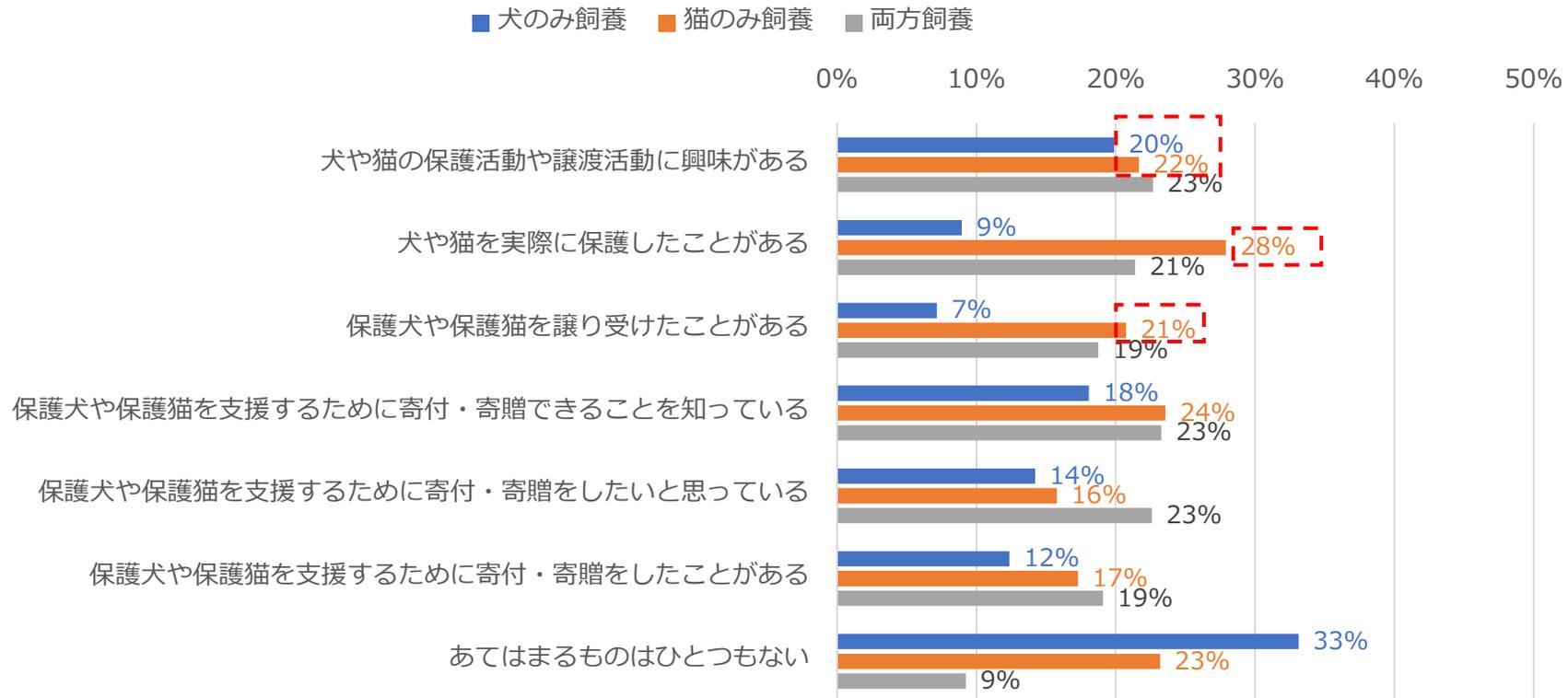
犬や猫に関して、あてはまるものをすべてお選びください



## 第3章 保護活動・寄付：活動への参加度（飼養状況別）

- 猫飼養のほうが保護・譲渡経験が高く、すべての活動参加度において犬飼養を凌ぐ

犬や猫に関して、あてはまるものをすべてお選びください



## 現在の状況

# 1

- 飼養状況
- 飼養理由・非飼養理由
- 迎え入れたチャネル
- 日常の幸福度スコア

## 将来の意向

# 2

- 今後の飼養意向
- 迎え入れたいチャネル
- 希望種別

## 保護活動・寄付

# 3

- 保護犬猫のイメージ
- 活動への認知度
- 活動への参加度

## その他

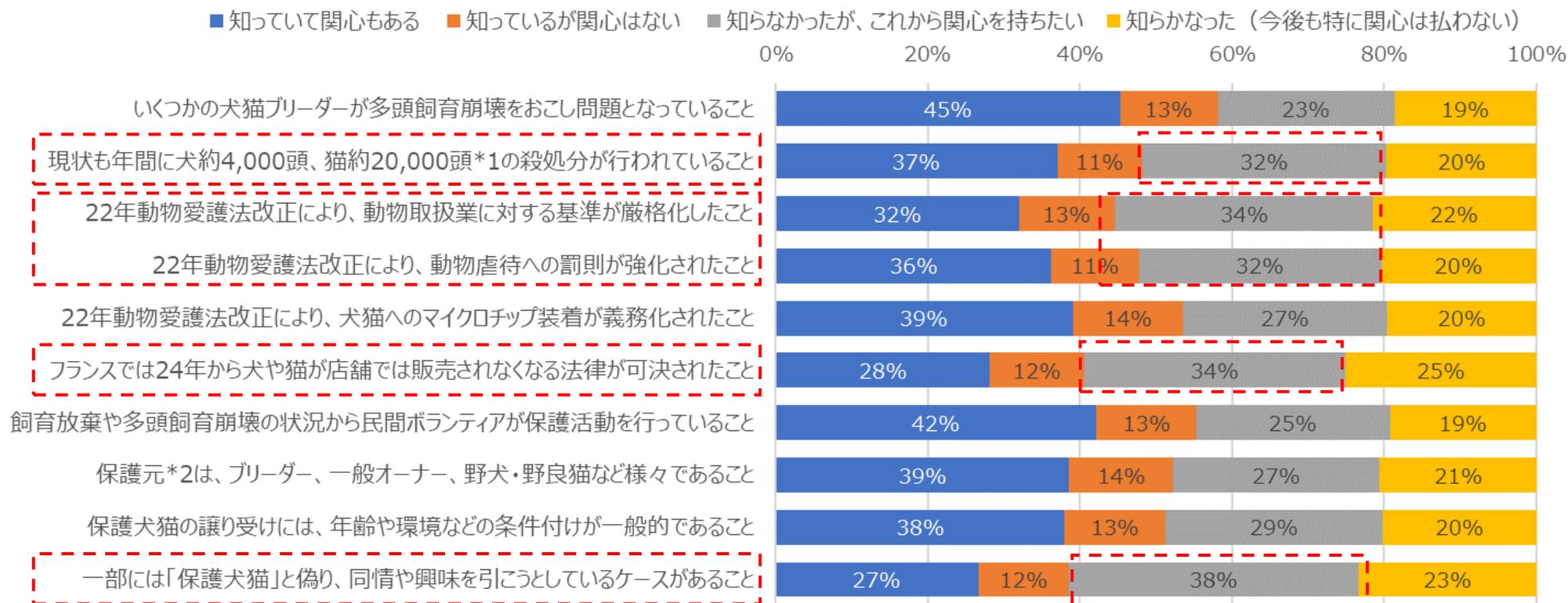
# 4

- 動物福祉課題の認知・関心

# 第4章 その他：動物福祉課題への認知・関心

- 「保護犬猫と偽るケースがあること」は、38%が知らなかったものの今後関心を持ちたいと回答
- 「殺処分の現状」、「動物愛護法厳格化」、「海外動向」なども情報ニーズが伺える

あなたは犬や猫にまつわる以下のことをご存知ですか？



\* 1 平成31年4月1日～令和2年3月31日の犬猫の殺処分頭数/環境省自然環境局総務課動物愛護管理室 統計資料より。尚、最新のデータ/令和3年4月1日～令和4年3月31日の殺処分頭数は、犬 2,739頭 (内 幼齢犬 540頭)・猫11,718頭 (内 幼齢猫 7,407頭) となっている。

\* 2 保護施設に来る前の犬猫の居場所、状態。

# 集計のまとめ（総括）

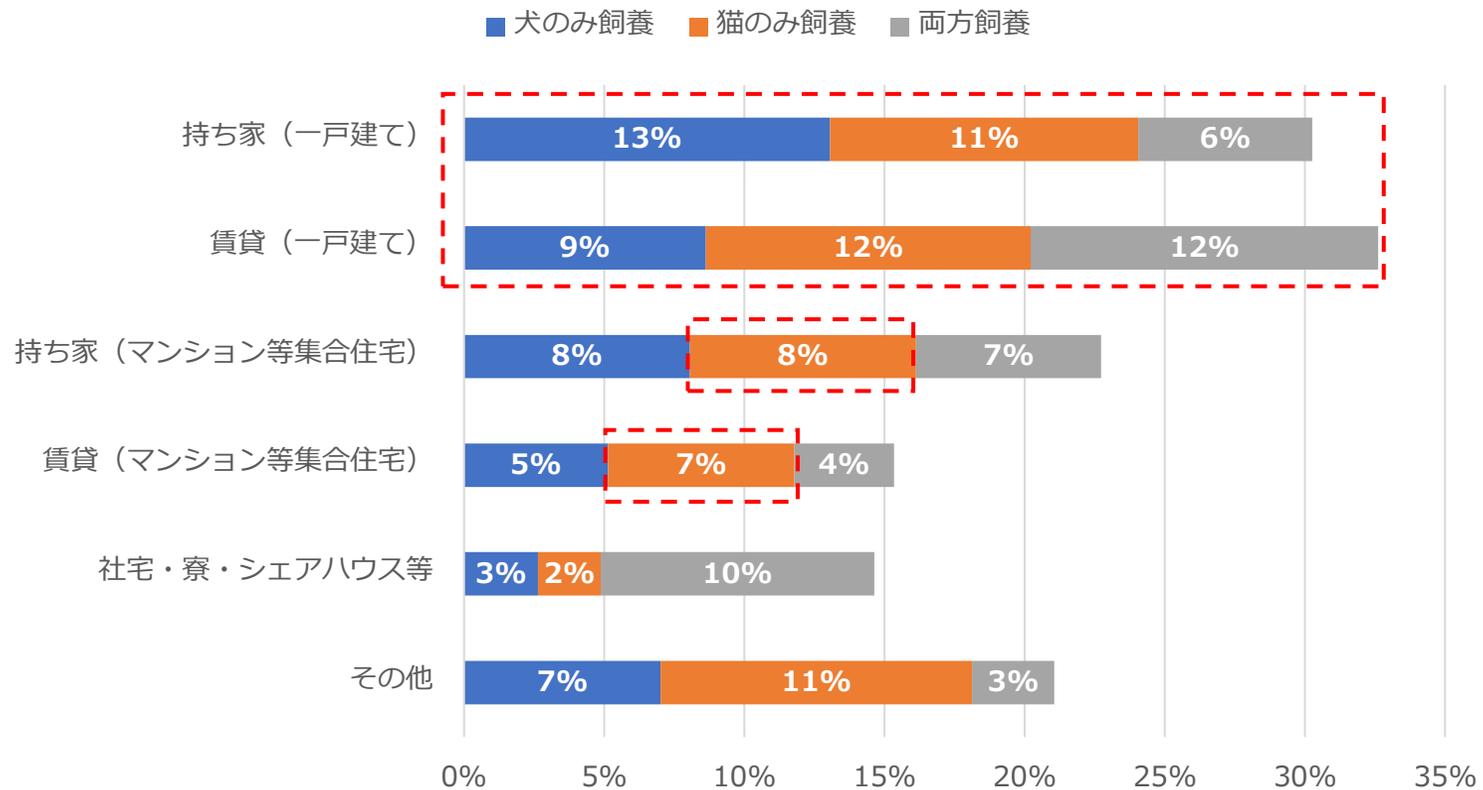
- ・現在、犬または猫と暮らしている割合は約25%となっている
  - ・今回の調査では20~30代層が相対的に飼養率が高い傾向
  - ・地域別では四国以南が微差ながら高い傾向
- ・飼養理由は「癒される」とするものが過半を越える
  - ・一方、非飼養理由は経済的問題と飼養上の問題・制約（の懸念）による部分が多い
- ・現在の迎え入れチャンネルはペットショップが38%でトップであるが分散化している模様
  - ・特に「犬のみ飼養」層はペットショップの利用が高い（58%）
  - ・一方「猫のみ飼養」層はペットショップ利用は17%に留まり、周辺からの譲受がトップ（33%）
- ・犬猫と暮らしている層は非飼養層よりも現在の幸福度を高く評価する傾向（特に男性）
- ・現在の飼養層の76%、非飼養層でも23%が、今後（も）犬猫と暮らしたいと回答（全体で36%）
- ・今後犬猫を迎え入れる検討チャンネルとしては保護施設との回答率（34%）がペットショップ（28%）を上回る
  - ・「最もあてはまる」率としても、ペットショップ（18%）に対して保護施設（19%）と保護活動家（6%）の合計は25%となっている
- ・現在の飼養別で確認すると、「犬のみ飼養」層はペットショップ（27%）が、「猫のみ飼養」層は保護施設（23%）がトップとなっている
- ・また現在の迎え入れチャンネルからの継続性はどの層でも確認できるが、特に保護施設からの迎え入れ層は将来についても同チャンネルを検討している率が最も高い（51%）
- ・今後の飼養種別希望別観点では、「（犬猫種や子犬など）特にこだわりのない」層が保護チャンネルを検討している割合が高い
- ・「保護活動」や「譲渡活動」への認知度は過半を超える（約60%）が、そこへの興味や参加度、寄付への意識は20%前後に留まる
- ・「保護犬猫と偽るケースがあること」は、38%が知らなかったものの今後関心を持ちたいと回答

# 付属資料

# 第1章 現在：飼養状況（住居タイプ別）

- 犬猫の飼養率は、集合住宅に比べて一戸建て住居者が多い傾向
- 住居契約観点では、賃貸住居者が相対的に猫飼養率が高い

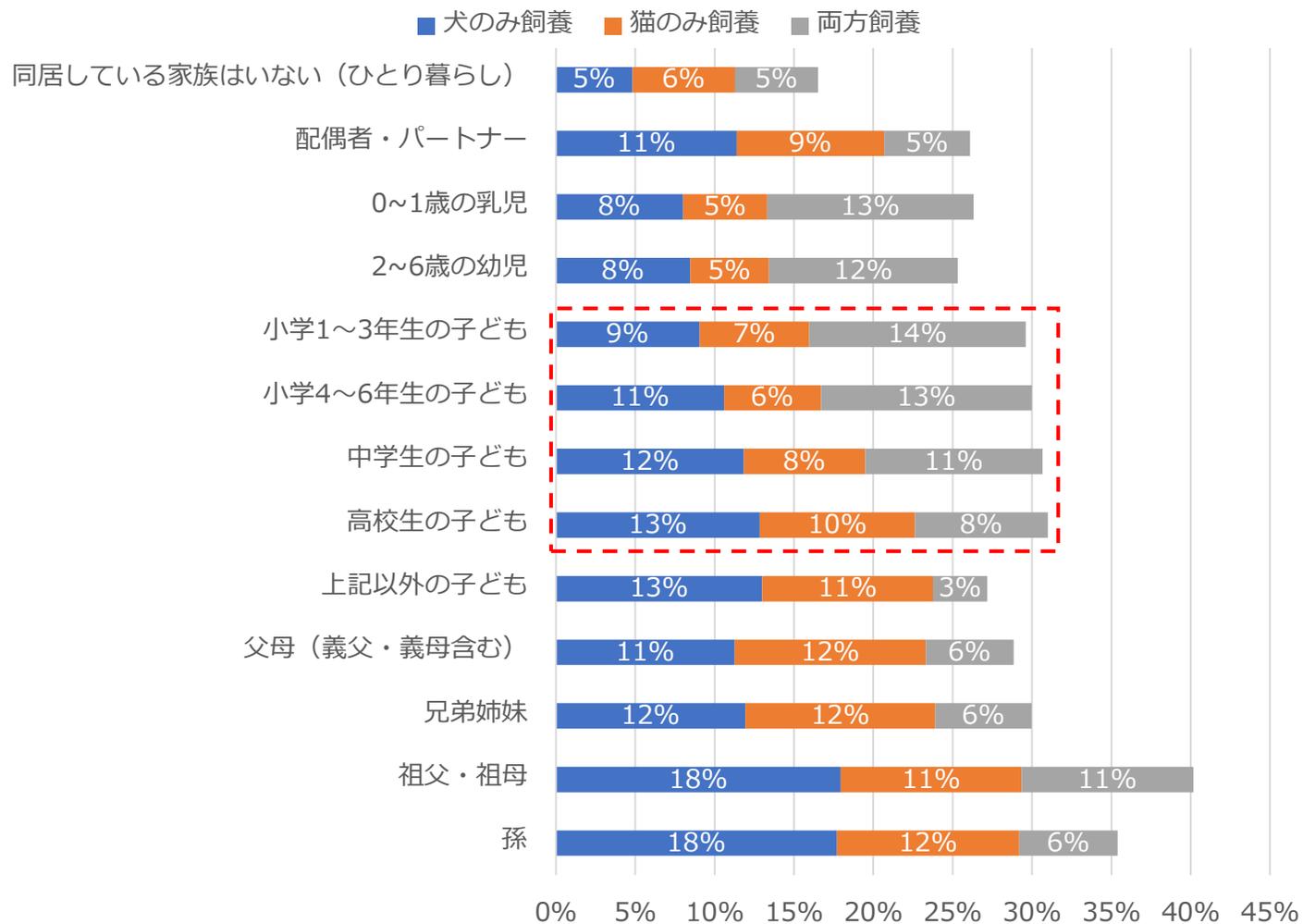
あなたは犬や猫を飼っていますか？ (MA)



# 第1章 現在：飼養状況（同居人別）

- 小学生以上の子どもがいる家庭は飼養率が高い

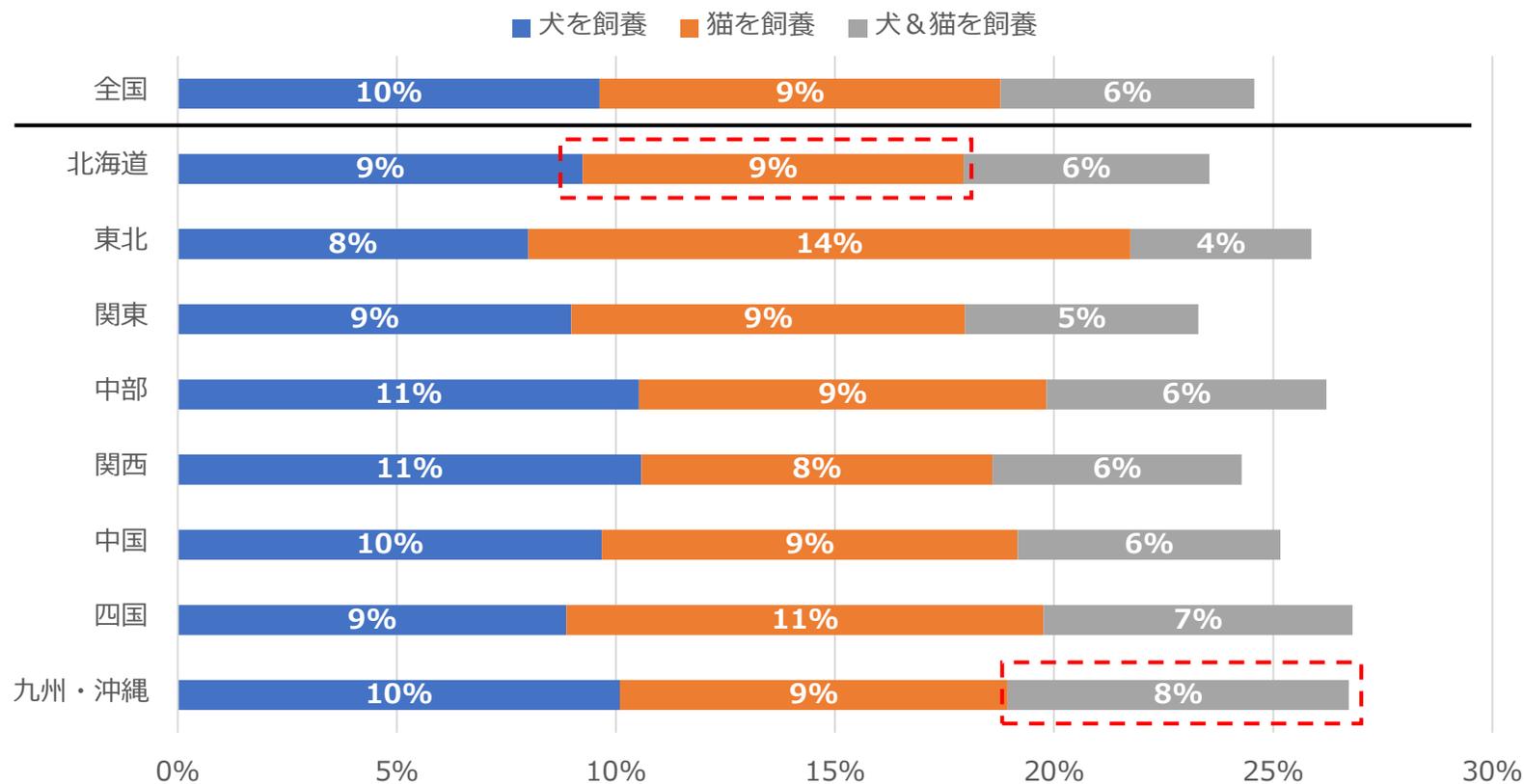
あなたは犬や猫を飼っていますか？（MA）



# 第1章 現在：飼養状況（地域別）

- 各地域で飼養傾向が分かれるが、とりわけ東北は猫飼養者の比率が高い
- 九州・沖縄は両方飼養率が他の地域よりも多い

あなたは犬や猫を飼っていますか？（MA）



# 第1章 現在：犬猫を迎え入れたチャネル（地域別）

- 東北は「家族・友人・知人からの譲受」が多い一方、「保護犬猫の迎え入れ」が低い
- 中国以南はペットショップ割合が低い

あなたが犬や猫を迎え入れた場所を教えてください（MA）

	調査N数	飼養率
北海道	214	24%
東北	288	26%
関東	1,794	23%
中部	812	26%
関西	987	24%
中国	273	25%
四国	133	27%
九州・沖縄	453	27%
総計	4,954	25%

ペットショップ で購入	ブリーダーから 購入	家族・友人・知 人からの譲受	個人の保護活動 家からの譲受	保護施設からの 譲受	里親探しのマッ チングサイト	その他
42%	13%	22%	9%	14%	10%	8%
35%	9%	34%	9%	8%	4%	13%
39%	16%	23%	10%	13%	8%	11%
39%	12%	25%	10%	14%	5%	9%
41%	15%	24%	9%	14%	8%	8%
35%	13%	27%	10%	15%	7%	17%
23%	18%	32%	11%	10%	9%	8%
28%	16%	29%	13%	13%	9%	15%
38%	15%	25%	10%	13%	7%	11%

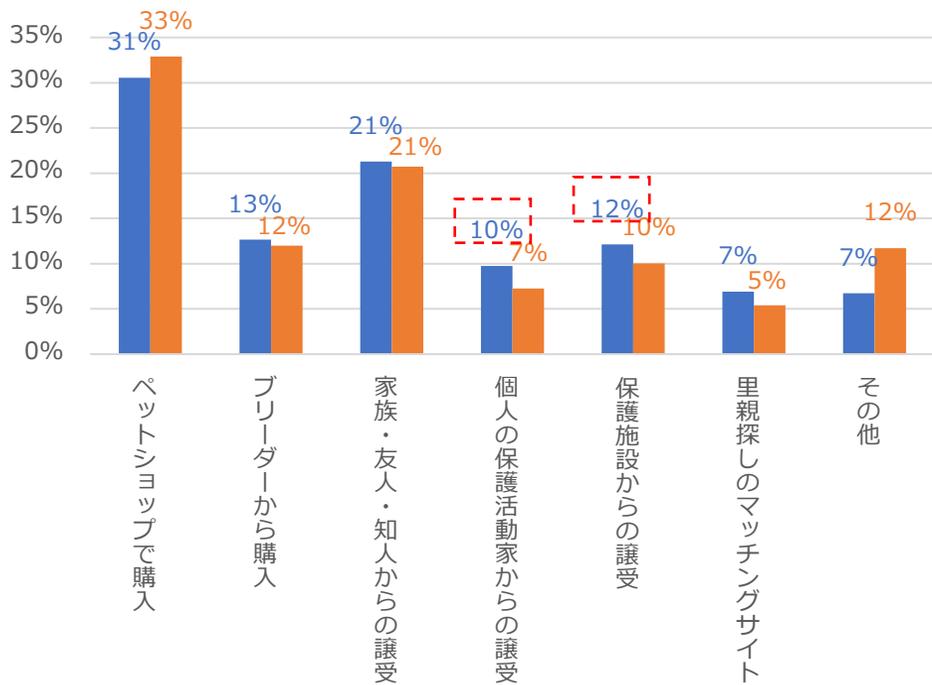
# 第1章 現在：犬猫を迎え入れたチャンネル（性別・年代別）

- 「保護犬猫の迎え入れ」は男性、かつ若年層のほうが積極的な態度が伺える

あなたが犬や猫を迎え入れた場所を教えてください（MA）

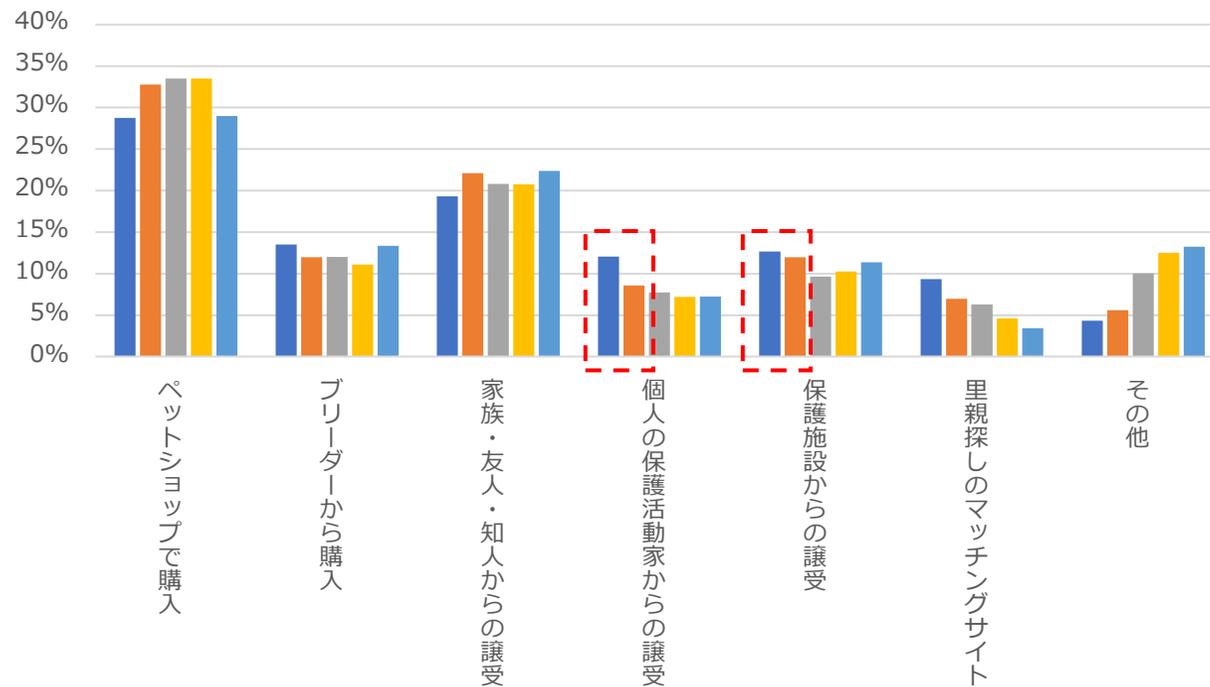
男女別

■ 男性 ■ 女性



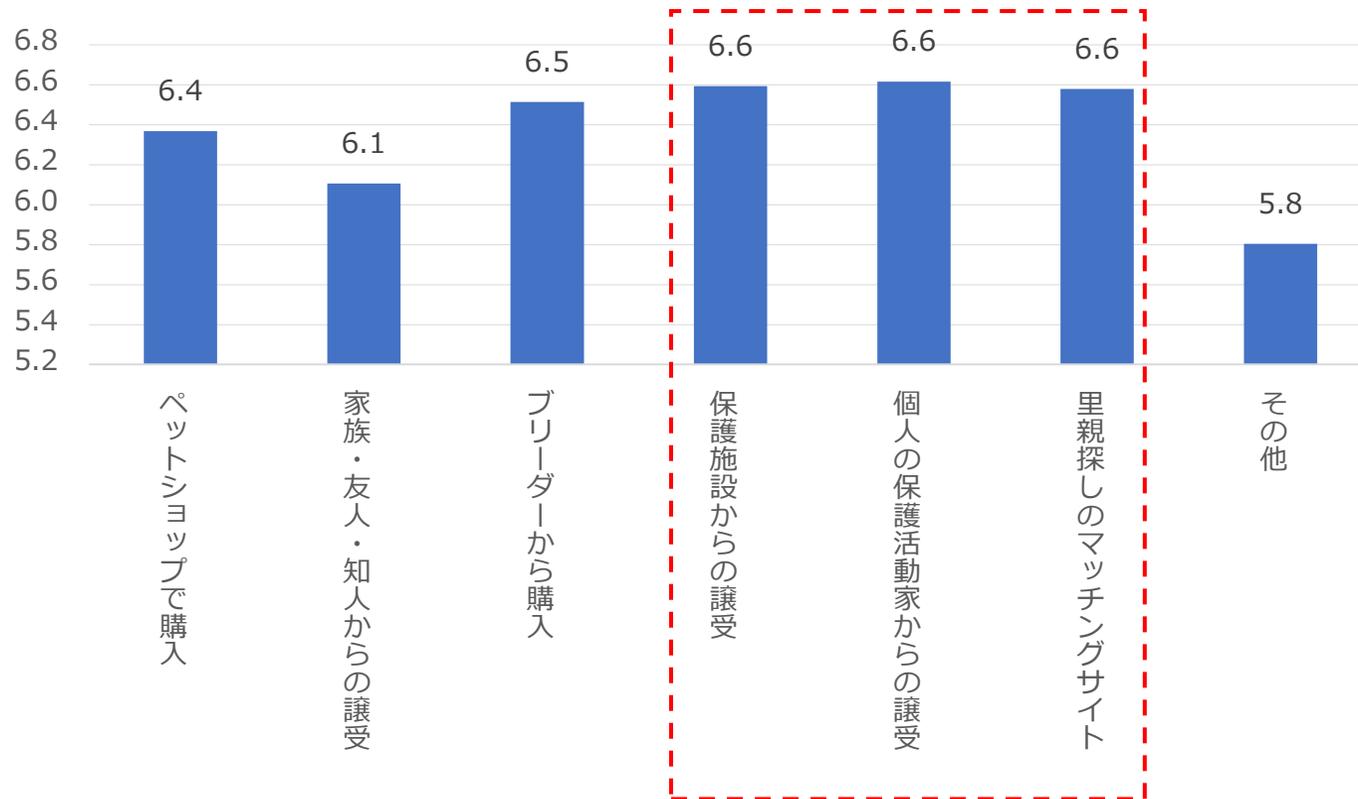
年代別

■ 20～29歳 ■ 30～39歳 ■ 40～49歳 ■ 50～59歳 ■ 60～69歳



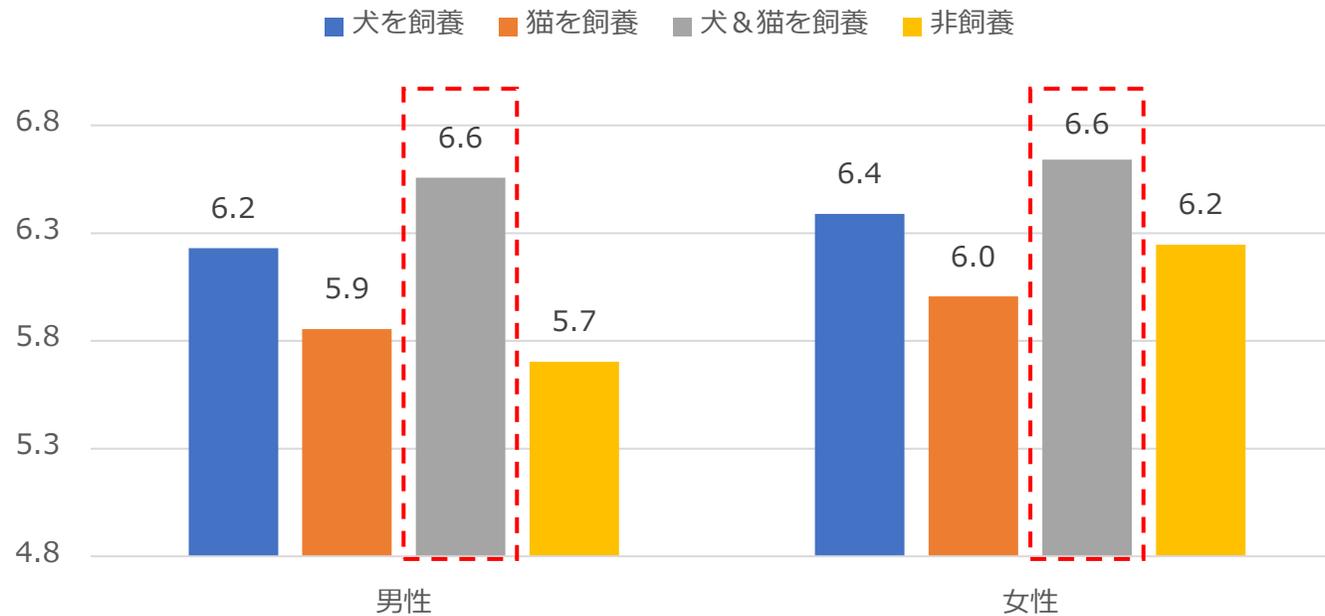
# 第1章 現在：日常の幸福度スコア

あなたの今の日常の幸福度を10点満点でお知らせください。



# 第1章 現在：日常の幸福度スコア

あなたの今の日常の幸福度を10点満点でお知らせください。



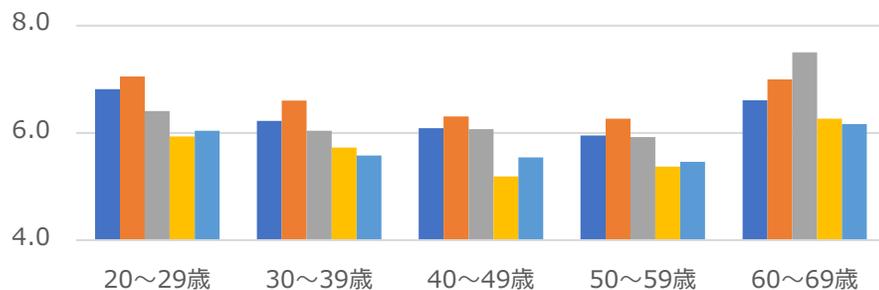
# 第1章 現在：日常の幸福度スコア

あなたの今の日常の幸福度を10点満点でお知らせください。

■ 1匹(頭) ■ 2匹(頭) ■ 3匹(頭) ■ 以前飼っていたが今は飼っていない ■ 飼ったことがない

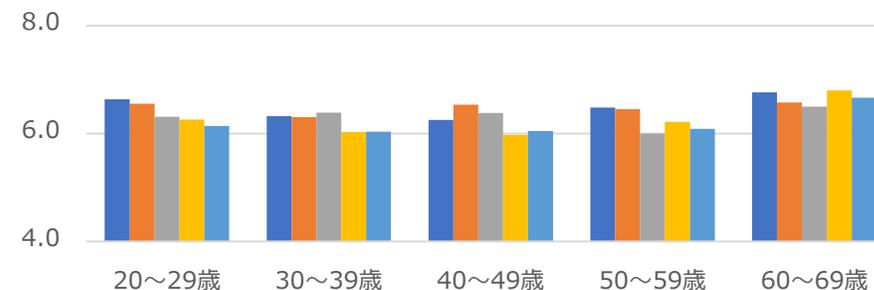
男性

犬の飼養状況別

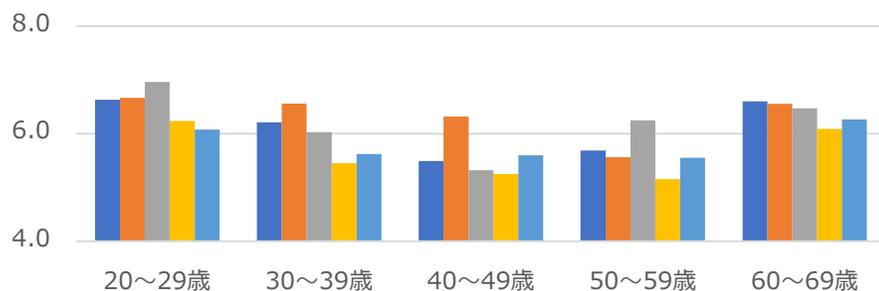


女性

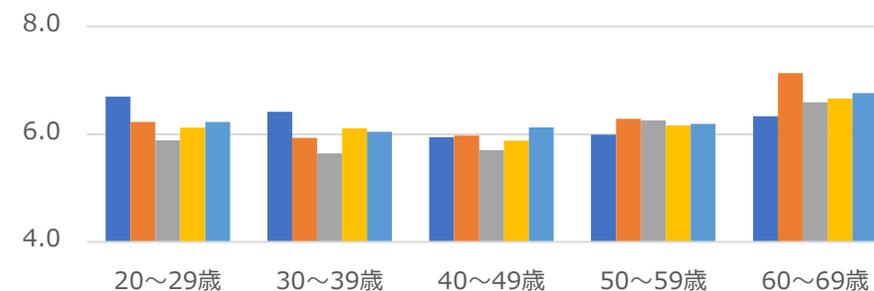
犬の飼養状況別



猫の飼養状況別



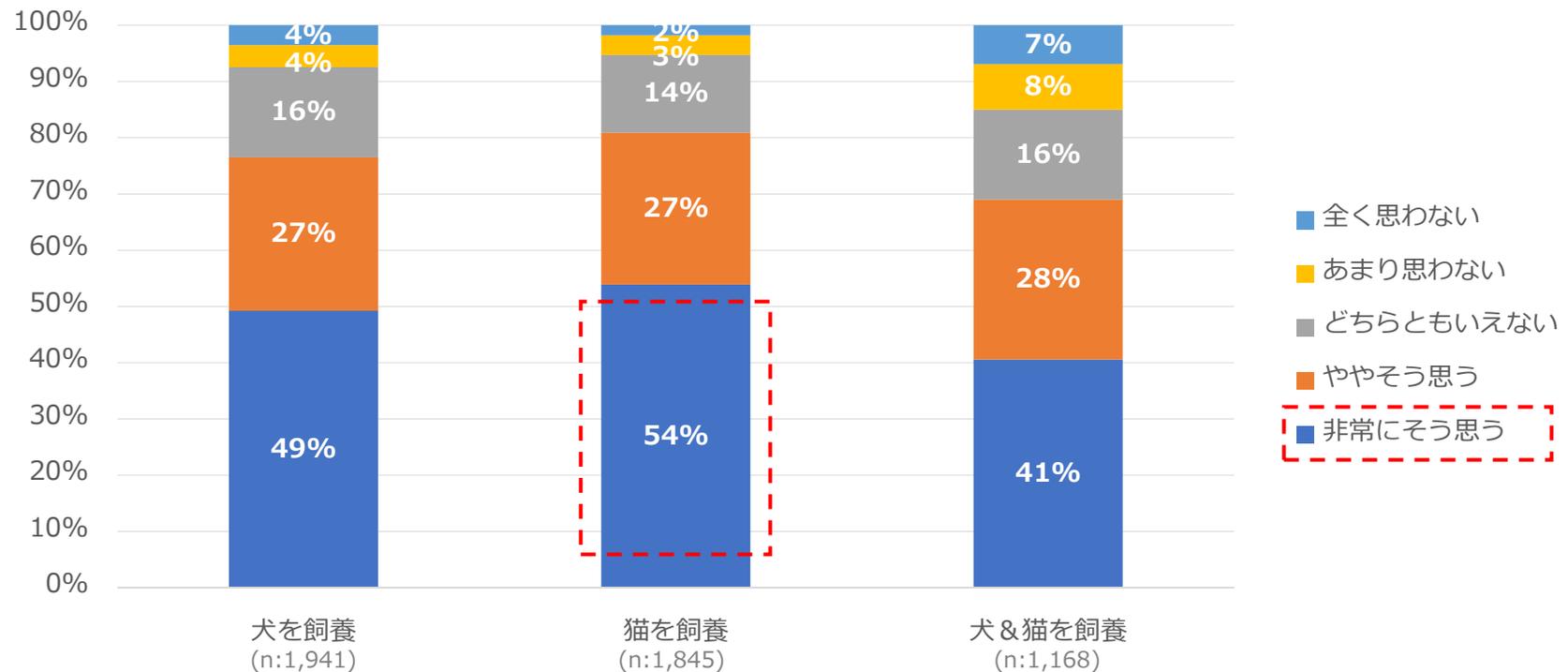
猫の飼養状況別



## 第2章 将来：今後の飼養意向

- 現在飼養者のうち、猫飼養者が将来も一緒に暮らしたい傾向が僅かに強い

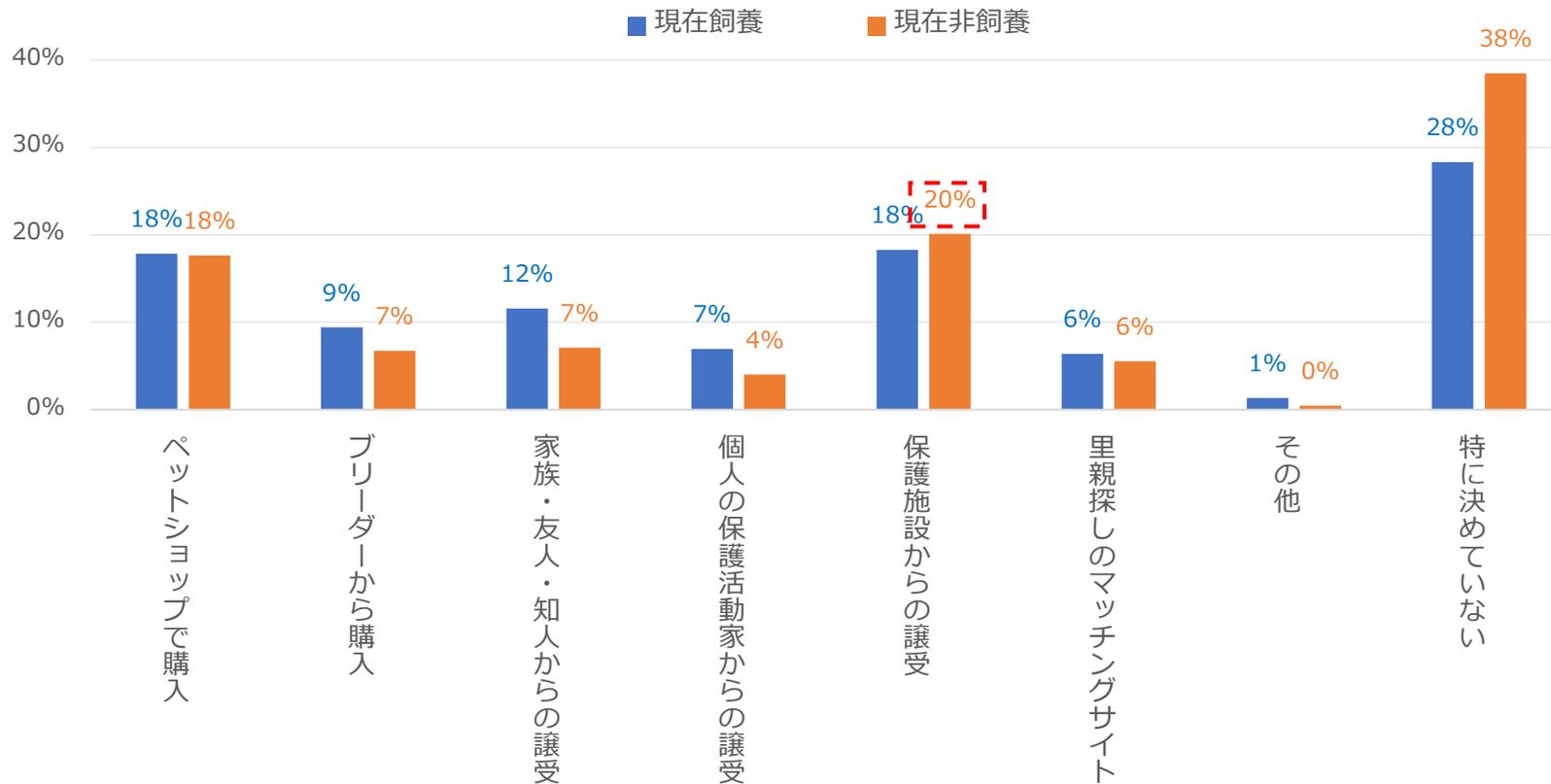
あなたは今後（今後も）犬または猫と暮らしたいと思いますか？



## 第2章 将来：迎え入れたいチャネル（飼養状況別）

- 現在非飼養者も「保護犬猫の迎え入れ」の意向は相対的に高い

犬または猫をどこから迎え入れる予定ですか？あるいは迎え入れたいですか？（最もあてはまるもの）



## 第2章 将来：迎え入れたいチャネル（地域別）

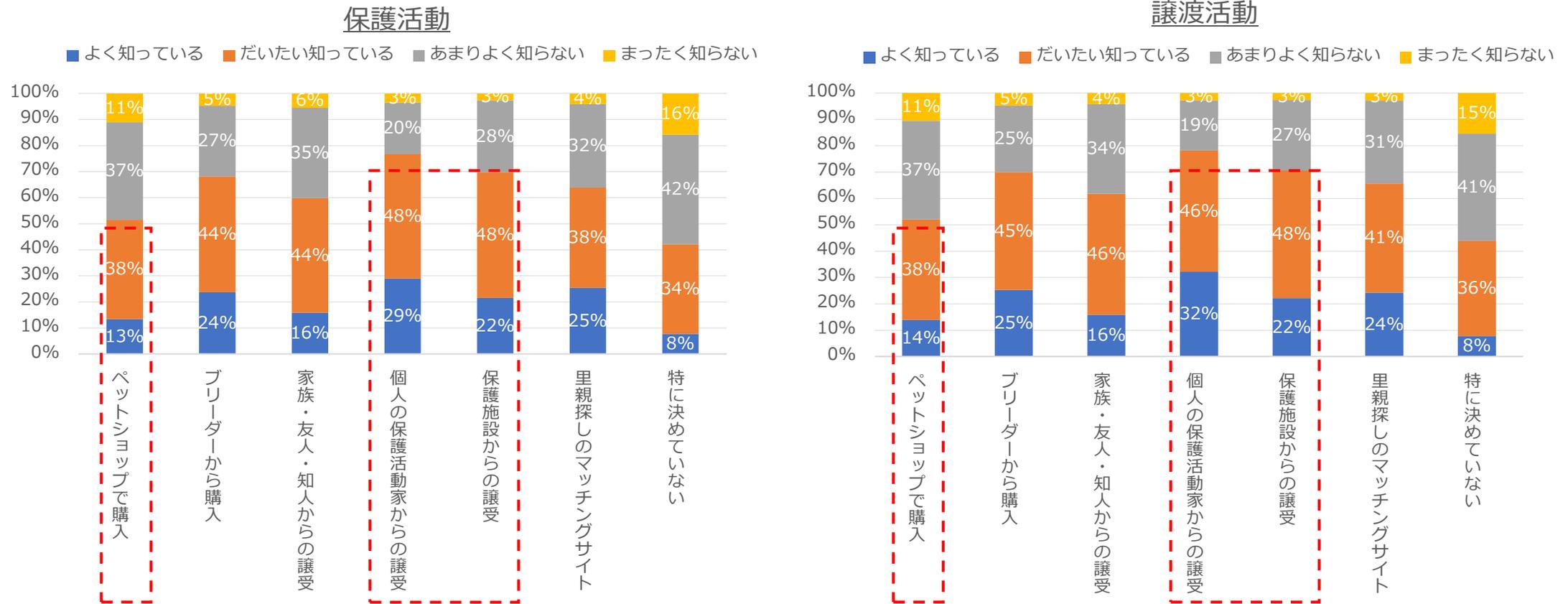
- ・ 関西・中部はチャネルを予め決めており、「保護犬猫の迎え入れ」への意識も高い傾向
- ・ ペットショップ率が低いのは四国だが、一方チャネルを決めていない浮動層率も高い

	調査N数	今後の飼養意向率	犬または猫をどこから迎え入れる予定ですか？あるいは迎え入れたいですか？（最もあてはまるもの）					特に決めていない		
			ペットショップで購入	ブリーダーから購入	家族・友人・知人からの譲受	個人の保護活動家からの譲受	保護施設からの譲受		里親探しのマッチングサイト	その他
北海道	909	36%	17%	9%	9%	4%	20%	6%	1%	35%
東北	1,113	39%	19%	4%	12%	4%	18%	6%	1%	36%
関東	7,703	37%	17%	8%	8%	5%	19%	6%	1%	35%
中部	3,097	37%	18%	7%	10%	7%	19%	7%	1%	32%
関西	4,065	34%	20%	9%	9%	7%	21%	5%	1%	29%
中国	1,085	36%	16%	9%	12%	5%	17%	6%	2%	33%
四国	496	40%	14%	10%	15%	4%	16%	4%	1%	38%
九州沖縄	1,695	36%	17%	9%	10%	6%	18%	7%	1%	32%
総計	20,163	36%	18%	8%	9%	6%	19%	6%	1%	33%

# 第3章 保護活動・寄付：活動への認知度（迎え入れたい場所別）

- 「保護犬猫の迎え入れ」検討層と「ペットショップで購入」検討層の間では、保護活動や譲渡活に対して認知・理解に20%程度の差がある

あなたは「保護活動」「譲渡活動」について、それぞれの程度知っていますか？



# 第3章 保護活動・寄付：活動への参加度（地域別）

- ・ 保護・譲渡経験は九州・沖縄がトップ
- ・ 寄付参加希望層は関東や九州・沖縄に多く、寄付経験層は中部が低い
- ・ 四国と九州・沖縄が活動全体への参加度が相対的に高いといえる

犬や猫に関して、あてはまるものをすべてお選びください

	犬や猫の保護活動や譲渡活動に興味がある	犬や猫を実際に保護したことがある	保護犬や保護猫を譲り受けたことがある	保護犬や保護猫を支援するために寄付・寄贈を知っている	保護犬や保護猫を支援するために寄付・寄贈をしたいと思っている	保護犬や保護猫を支援するために寄付・寄贈をしたことがある	あてはまるものはひとつもない
北海道	27%	15%	11%	23%	16%	16%	44%
東北	22%	21%	13%	18%	17%	16%	45%
関東	24%	17%	12%	24%	18%	15%	43%
中部	25%	19%	12%	23%	16%	13%	41%
関西	24%	17%	11%	24%	16%	15%	41%
中国	20%	21%	15%	20%	14%	16%	44%
四国	22%	21%	14%	25%	16%	15%	39%
九州・沖縄	31%	23%	15%	27%	19%	16%	34%
総計	24%	18%	12%	23%	17%	15%	42%